京城日報 夕刊 一月十八日(金)

息づまる緊張裡に 朝野兩黨の對峙

議會再開漸く近づく

—休會前の政情其儘依然混沌

廿二日より愈々質問戰開始

【東京電話】新黨俱樂部は明十九日聲明を發表し態度を闡明する筈となつたが田中首相と床次氏の會見が有耶無耶の中に終つた今日『對支外交』に關して倒閣に政府支持は出來まい、それかといつて對支外交上意見の相違から民政黨を脫黨した床次氏としては野黨聯盟などを唱へて民政黨と共同戰線に立つことも出來ない、依然新黨は床次氏獨黨の洞ケ峠をきめこむものと思はれ、打開しそうに見へた政局は二十余日間の休會中大した收穫もなく從つて休會前の混沌たる政情そのまゝいよ〳〵休會明議會を迎ゆる事となつた久しき騷然たる大騷擾の新舊代議士の脫黨を見て無所屬中立揚げ十六日民政黨から海野、永田名の同志を得たが『議會再開』までに目鼻がつくか疑問とされてゐる、

[illegible]

『峻烈なる』質問を試み數日間にわたる貴族院の質問戰は相當緊張味を帶ぶるであらうが殊に一日は衆議院本會議の關係もあり十二時散會、午後一時からは貴族院の本會議開かれ貴族院同樣首相外相の演說あり、次いで三土藏相より豫算案提出に關し財政說明[illegible]

[illegible]濟にわたる詳細なる說明ありいよ〳〵衆議院における質問戰の火蓋を切つて落される衆議院は貴族院と異り朝野兩黨の對峙漸く白熱化し[illegible]の關士も一騎當千の武者その間に無意政黨の[illegible]民政黨の[illegible]政策に對し[illegible]絕對不信任の[illegible]を成すといふから政府の[illegible]もなかなか容易ではあるまい、政府野黨も議會を前に、いきづまる樣な緊張を[illegible]してゐる

十八日の閣議で 議會對策協議

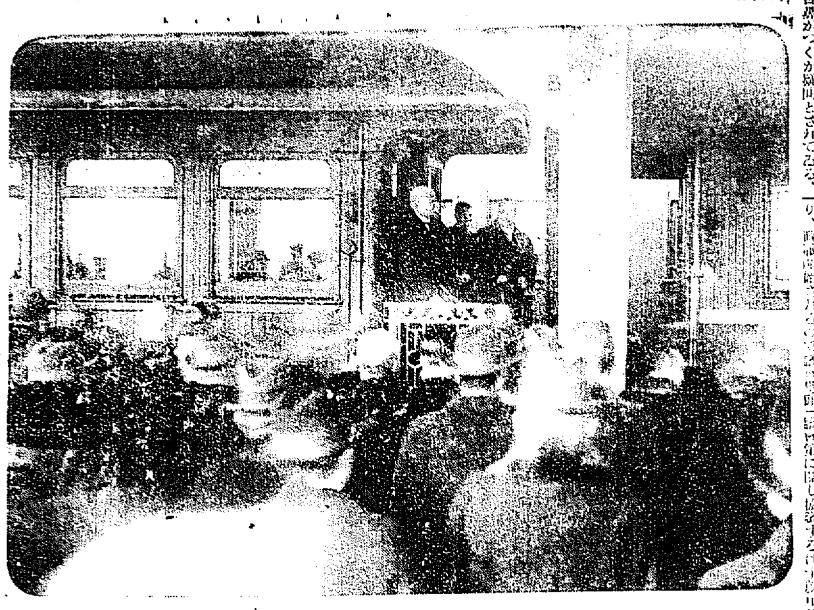
施政方針演說決定

【東京電話】政府は十八日午前十時から閣議を開きいよ〳〵二十六日からの議會も二十二日から再開するので議會再開に[illegible]における田中首相の施政方針演說、外交演說を審議決定し、引續き議會提出の諸法案を協議した後、對議會策に關し協議するはずで最中最も重大なる對支外交、殖民地問題、鐵道、貴族院等の諸問題につき意見を交換し萬遺漏なきを期する方針である

三、四年度 追加豫算

三千萬圓突破

【東京電話】昭和三、四年度の追加豫算は三千萬圓を突破するか[illegible]



◇……池上政務總監東上

池上政務總監は既報の如く十八日午前十時十分京城驛發一路東京に向つた、我總監の勢力にむくいるためか驛頭にはいつもに增して見送り人が多く兒玉總督をはじめ朝鮮總督府各局部長民間有力者など數百名に達した

小泉氏の復黨で 岡崎氏と密談

【東京電話】政友會の岡崎邦輔氏は十七日夜某所において小泉策太郎氏と會見同氏復黨の餞ができたとするところありなほ政黨との關係その他につき意見を交換するところあつた

策士の來往繁く 野黨聯盟說擡頭

民黨は妥協苟合を避く

【東京電話】休會明けの議會を前にして臨時又野黨聯盟說持上がり小泉策太郎氏がその黑幕と目されてゐるが現に十七日小泉氏は民政黨の賴母木桂吉、町田忠治氏と會見し更に同氏は午後太郎氏と會見し更に床次氏の方面の調停を試みるところあり又富田幸次郎氏に對しては床次氏の方から一應懇談をさし、たいと申込んで來てゐるとの說もありこの種床次氏の臆意は更も新黨俱樂部の[illegible]の客觀は[illegible]政府と[illegible]議會が[illegible]も取りて[illegible]は野黨聯盟となり或は野黨聯盟の際一致の總聯盟となるに至るべき[illegible]にあるしかし民政黨は一時的の妥協苟合を避ける方針で自主獨往を標榜してゐるから[illegible]限り野黨聯盟の實現は[illegible]あると見られてゐる

稅制案內容伏奏

藏相十八日午後葉山へ

【東京電話】三土藏相は葉山に於て十八日午後二時四十四分逗子驛着鐵道にて葉山へ向ひ午後三時より[illegible]稅制整理案の內容および豫算編成についてなす[illegible]

朝鮮人移住につき 鈴木總領事語る

間島の土地所有權も 案外容易に取られる

【北京特電】所任の途、昨夜入城した鈴木間島總領事は十八日總督府を訪問し[illegible]間島の朝鮮人問題や間島地方の狀況を報告し終つて警務局長、永井殖産局長、石川警務課長と事務の打合せをなし歸尾政務總監とも會談[illegible]

間島の朝鮮人問題で種々協議する所があつたが氏は本府當局に語る所によると間島の朝鮮人は年々激增しつゝある、現在四十萬人の移住者があるが增加する一方で私の考へでは朝鮮の一道位の人間は移住しても大丈夫と思つてゐる、間島移住朝鮮人中には土地の所有權を得る者も漸次增加してゐる、內地人が滿洲で土地を持たうとすると支那人は非常に猜疑的な目で見て仲々容易でないが朝鮮人だと非常に樂に所有權が得られてゐる、そんな具合で移住朝鮮人は長足の發展をしてゐる、本府の間島に對する保護事業、衞生、敎育、各種の施設は非常に順調に進みこれがため朝鮮人は益々幸福を增進してゐるのである、不逞團の脅威なども元よりにはあるが概ね警備力も充實して居て朝鮮內と大差ないから移住朝鮮人も安穩な生活をして

ある東三省が國民政府に歸屬し支那の地方問題となつたため間島に及ぼす影響は大したことはない、ただ地方官や軍隊などに多少の異動がある位であらう、國民政府では地方的交渉を認めぬといふ意向らしいがこれは取らぬ本を相手に言つてゐることであるが、されるやうだつたら直ちに實行に移さるべきものとは思はれない、吉會線の敦化以南の延長は既に協約が成立してゐるが何とかの理由で實行が延延してゐるのを近く開始するとかいふ話がある[illegible]行上の手續で何日頃協定が成立して工事にかかるかは今の所何とも言へぬ、この線が完成すると間島は通り拔けになり甚だ惡いと言ふ人もあるが私は寧ろ見て居ない、非常に發展するだらうと見てゐる、吉林、長春方面へこの線により浦鹽の貨物やドシく吸收して來るといふやうになり間島は一躍發展すると思ふ（寫眞は鈴木間島總領事）

池上政務總監 勞働宿泊所視察

十七日午後四時半池上政務總監は神尾社會課長同伴馬野府尹の案內で京城黃金町三丁目に新築された府營勞働宿泊所を視察した

眞相發表

漢口事件の

政府興黨間に 問題となる

【東京電話】政府および與黨における漢口事件の眞相に關しては今回の對支外交の重大問題であつてこれが眞相發表を行ふべく研究中であるが近く十八日の閣議において決定し議會において問題となるであらう

[illegible]下大藏省に照會中にて諸般の事情を考慮し[illegible]するものは昭和三年度分を合せて三千萬圓を突破してゐる

關稅調査會で 審議中の品目

關東州特惠 關稅追加品

【東京電話】大藏省關稅調査會では關東州特惠關稅追加品につき審議を開始した[illegible]目は綿織物、硝子製品、大豆油の三種類に限るものである

兩稅委讓と 新黨の態度

俄に樂觀を許さず

【東京電話】三土藏相と床次氏との會見は兩稅委讓に對する新黨の態度を緩和しはせぬかと見る向きもあるらしいが新黨は依然として反對論多く其後の政府の樂觀は俄に許さぬものあらうと見られてゐる

漸次影の薄らぐ 自作農案の前途

結局審議未了に終るか

【東京電話】自作農創定に關する諮問案は十八日の定例閣議に田中首相より諮る筈になつてゐたが都合により見合せることになつた、之と共に自作農創定案に對する政府部內の意向はやや冷淡で前回議會に於て今議會には提出せんとするものさへあり農林當局は前途を憂慮してゐる

米大統領署名

不戰案批准書に

【ワシントン十七日發電】アメリカ大統領カルヴイン、クーリツヂ氏は本日多數的不戰條約批准書に署名した

第一、第二兩高女の入試

選拔試驗は結局免れず

女學校入學の競爭も次第に激しくなりつゝあるが今春京城第一、第二兩女學校の志願者數は非常に多數に上るべく、學務課では一應豫選に付した上入學試驗を行ふことになつてゐるが其發表されることになつてゐる、それによると試驗は國語、算術の二科目の選拔試驗を施行する由で、兩校とも試驗は來る二月八日兩校同時に實施するといふことで試驗官は各校とも四百名近くにも達するから選拔試驗はまづ以つて免れぬものと見られてゐる

は人ねばならぬ、試驗問題は國語への讀方、綴方、算術の二科目で兩科共尋常教科書にあるものから出すことになつてゐるから教科書にあることさへ十分勉强して置けばよい譯である、願書は二月二十八日までに受驗料一圓を添へて提出を要し、その他の參考事項は左の通りである

一、試驗日割 三月七日算術、國語同八日國語算術同九日口頭試問身體檢査

二、合格發表 三月十一日午後一時から郵便で本人に通知する

三、携帶品 鉛筆、消ゴム、小刀、辨當

京城木浦間の 電信線改裝

二重裝置とす

京城木浦間の電報通數は最近いちじるしく增加し、これに加ふるに釜山木浦間電信線は障害の場合は京城を迂廻するため非常にふくそうするので、遞信局では京城木浦間の電信線を二重通信裝置に改裝することとなつた

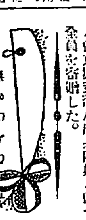
人

◇中內松次氏（日本紙業專務重役）十七日夕入城朝鮮ホテルへ◇佐藤三郎氏（[illegible]）同上◇木下氏[illegible]

◇管野久氏（南朝鮮鐵道支配人）十八日朝入城朝鮮ホテルへ◇百木倫太郎氏（法學博士）十八日午前十時十分退城歸東◇五崎陳平氏（殖銀井邑支店長）十七日入城不知火旅館へ◇杉山政次郎氏（天津日本中金支店長）同◇早川鐵冶氏（滿鐵理事）[illegible]歸路京城を經へて十八日ハルピン經由歸連◇渡邊北兵中佐（陸軍省兵務課員）◇波田北兵中佐[illegible]勤務を卒へ十九日夜南下◇三好鉛三郎氏（[illegible]）◇百武榮氏（錦繡士）昨冬來京し◇大野雄之輔氏（三井物產支店長代理）

會

京城印刷組合總會 十九日午後二時から[illegible]日本メソヂスト京城教會の日曜學校は午前九時半より開會、田中牧師の『人生の理想』なる說教ある筈



◇野黨聯盟說、サア新黨がどうなるかナ。かういふことがあれば床次氏がセリ出して來るから妙だ。

◇對支外交好轉の兆あり、國際々々と來て居るんだネ。このつぎは不戰條約を批准す。

◇米大統領ついに不戰條約に署名

◇他人の自作農案、今さら影が薄いとは言はさぬ。どうでも出すことだ、出しさへすれば……イヤまてよ。

◇『悲節の家』の主人公が爾俵をもらつて大逃避び、これに東京にあつた譯。哭ひも出來ない

妖鬼流血錄

(136)

長谷川伸 作 木村哲二 伊藤幾久造 畫

新春混亂圖（五）

久々で、松吉と忠津陸と繖八郎が會つた。肝になりならぬもの、この他に小六郎、おさと、それから設宿した了哉といふ者がある。これだけ揃つた。

[illegible]松吉の手から一品の寶物を忠津陸・繖八郎、小六郎等の手に渡されたことはいふまでもない。なほ繖八郎と小六郎によつて作られた越中守あての訴狀を無事に越中守の邸へ屆けて來たことも、松吉の口から說明された。一同は手を打つて喝采した。

『そこで今後どうする……』と小六郎がいつた。

『一類行動にかゝる前に、まづわれ〳〵が協議する必要がある。今後の方針……』

[illegible]

こゝに集まつた面々はすべてわれ等の同志として一致協力して事に當たるといふ約束をしてはどうだ松吉は無論のこと、おさとどのも了哉坊も……』と繖八郎。

『いつその事、六人がいつしよに住まう、そして事を行はう、六人の誰しも一致して大理想のもとに、浮き世を拗ねてゐる人間ばかりだから、氣もちが合致するだらう……』と忠津陸。

『よからう、六人の力を以てして越中守を徹底的にヤッつけよう、越中守ばかりでない、高位を笠に着て無理非道なことをする奴共を小氣味よく膺懲しよう……』

『しかし、しかしだ、同志は如何なることがあつても、色事を愼しむといふことを誓はなければならぬ、兵営、兵公おさとと變愛を戒めるやうなことはあるまいな……』

繖八郎が云つた。

『さうしてない目的を達しるまでは私に戀を愼まふ』忠津陸がキッパリと云つた。

繖が繹になつて、いはば誓約式の祝宴だ。

おさとはひそかに微笑した。

一時それで手を引いて、他の方面へわれ〳〵の理想を實現しようではないか』繖八郎が答えた。

『それがよからう』忠津陸と小六郎が賛成した。了哉もおさとも、この際では殆ど無言の形だ。

『それがヤア、今夜にも越中守の邸へ手を見に來せう』松吉は吞氣く話合つた。

しかし、越中守の方でも、嚴重に注意してゐるであらうが、充分氣をつけなければならぬぞ』

『大丈夫でがすよ、御心配御無用……』

松吉あつさりといふ。

そこで早速行動の相談だ。

『松吉は、ご苦勞でも、時々、越中守の邸へ忍び込んで樣子を見て來てくれぬか』と繖八郎。

『越中守が、諸方の寶物を集めた藏に入つて、寶物を返してやる所存だ』

『勿論返してやらうではないか、その後、彼の品行が改まらぬ節はまた别の方策を講ずるとして、

[illegible]

あすの天氣(19)

高氣壓は北鮮及び滿洲より黃海に瀕がり日本海方面は氣壓が低い南西部は曇り其の他は天氣が良く一般に穩であるが明日は曇り勝ちである

豫報	氣	溫
曇一時晴	十八日 午 零下〇・六(高)	十七日 最低 零下一〇・二(低)

肺患

治病の計を立てられよ

『今年こそは癒る』之は新春を迎へるに當つてお互に信じて諸氏に進呈したい標語であります私達が十年の肺患から甦つた嬉しさを告げ、一人でも多くの同病者に癒つて戴きたいために努力して居ます。この療法は器械も藥も要らず殊更に轉地入院等をせずとも、自宅で悠々行ひ得るので、既に幾千の方法が着々として成功してゐられます。この療法を無料公開した研究雜誌『自然療法』及び英國精核醫界の權威アーサー・レーサム先生が私達に下さつた『結核病の眞理と治療原則』の二冊をハガキにて御申越の方に進呈致します。

相州小田原新久保二 自然療養社

知らぬ御方がまだありますか

美神丸

は廣島で生れて大阪市に進出した他の絕對追從を許さぬ實に不思議な婦人病の救濟の神と迄稱せらるゝに至りました此名藥を鄕土の誇として其から其へと御同性の方々に知して下さい

美神丸は七ケ年に亘る惡性の病原に惱む婦人を研究合さして發明したる

有名婦人藥

コシケが止まり 夫婦仲の良くなる名藥

藥用にて處女にも『コシケ』あれば使用して心配なく知らるゝ憂ひなく治療の目的を達します主婦の友、其他各婦人雜誌に揭載各地有名藥店及特約店にて販賣す

コシケ止め大評判の名藥

美神丸本舖 合資會社 宮內善進堂

特約店募集 御希望の方はすぐ本舖宛御申込下さい 大阪市東區南久寶寺町(堺筋) 電話船場三四五九番 振替大阪八三九五番

せきずねびやう 手足しびれ骨節痛み痺れ

脊髓病

脊骨突出龜の脊の樣に

身體曲り、腰痛み竹クサリ、膿汁が出る等治療から起因する疾患に永年困難せる病者も決して悲觀せず他に類なき內服して完全に効ある專門秘藥ありこの廣告切拔送付の方に內容說明書と共に美本家庭療養術一部無代進呈す

兵庫縣明石市中町 太平堂脊髓藥研究所

ナショナルランプ

電氣ランプ 安心で便利で經濟

松下電器具製作所

自轉車用 手提用 倉庫用 炭坑用 夜警用 非常時用

ランプ、電池共に類似品、模造品が激增致しました、是非ナショナルを御指名下さい。

中風病

きち動脈硬化の完全治療法

動脈硬化は腦溢血の前驅症

酒や煙草の害○過度な遺傳や恐るべき事なり動脈硬化しない人でも腦溢血や中風は恐る可き病なり[illegible]

◎兵庫縣明石市中町電話番號五五番 加古中風藥研究所

ドンナ頑固な人でも四五ヶ月以內にトマリ心配なしにキツト安心出來る沈下秘藥知らずスグ申込あれ 大阪天王寺逢阪上之町三十五番地 藥學士 村田製藥所

月やく

本欄特別廣告取扱 大阪高麗橋五 昭廣社

母の身を救はんと 亂醉の弟を絞殺

覺悟の兄は直ちに自首す ゆふべ崇四洞で

十八日午前一時といふ深夜京城府崇四洞百二十七番地〔illegible〕の家庭において兄が母の危險を救はんとして遂に弟を絞殺するに至つた。酒にまつはる家庭悲劇が演出された。兄は母を救はんとして亂醉の弟が手にふりかざしたアヂ切庖丁をもぎとり飛びかかつて〔illegible〕絞殺した。これを見た兄は大いに驚き〔illegible〕人工呼吸を施したが遂に甲斐もなく兄は覺悟の色濃くそのまゝ東小門派出所に自首した

母の慈愛にそむける弟

絶息に氣づいて人工呼吸も無駄

加害者は和田稔（二二）といひ被害者は和田泉（一七）で十七日午後十二時近く弟の泉はいつもの様に亂醉して家に歸つて來たので、〔illegible〕

心配 に夜もねむれず待つてゐた母が泉の泥醉した姿を見て叱責した〔illegible〕泉は憤り矢庭に臺所よりアヂ切庖丁をもつて來て母をきりつけんとするので〔illegible〕が飛びかかつて〔illegible〕

可愛さうな事をした 母親の話

なつてぶつ倒れてゐるのでその時初めて弟の〔illegible〕けです、とんだ事を致しみなさまに相すみません〔illegible〕

〔illegible〕

殘虐 となく人工呼吸やかつを入れたがその効なく死んでしまつたものである。母や兄を救はんとしてしたもの〔illegible〕

事件は知らなかった 要深き父親の話

〔illegible〕

松下司法主任ら檢證

〔illegible〕

兇行の家――松前檢事の檢證

朝鮮宣傳の繪葉書の意匠

朝博協贊會が懸賞で募集する

〔illegible〕

機能 を發揮する事となり〔illegible〕

圖案 に關する一切の權利〔illegible〕

全半燒四十戸 けさ門司の大火

〔門司電話〕十八日午前四時半門司入船町〔illegible〕より發火し、消防組の必死の活動も効なく〔illegible〕全燒四十戸〔illegible〕

詐欺犯逮捕

〔illegible〕

三種類の宣傳歌 これも懸賞で募る

〔illegible〕

修築實現する仁川港秘話

東郷さんとの關係 作間御用掛談

〔illegible〕

測量 を遂げたといふ〔illegible〕

モヒ患者三名檢擧 米倉町の巣窟を襲つて

〔illegible〕

面長 に〔illegible〕

半島の硬球が新生の首途

原田選手を迎へて殖銀、鮮銀も進出

〔illegible〕

進境 を見せ〔illegible〕

開始 するが此に〔illegible〕

犬はやりの僞の訴へ

〔illegible〕

修養道場の軍人會館

靖國神社外苑に建つ

〔illegible〕

美馬天地眼師再び來る

觀法と高名を博す

〔illegible〕

運命大鑑定

〔illegible〕

組織的にやる糺察隊の暴狀

居留民の保護には遺漏なきを期す

【東京電話】漢口糺察隊の暴狀および居留民保護について〔illegible〕は語る

今次 漢口に於ける〔illegible〕

一、日本貨物を沒收す
二、日貨を販賣したる支那商人を籠に入れて市中にさらす
三、日貨を運搬する人夫は拘禁する等

決議 をなし支那商店を〔illegible〕

周圍 の木材とか家具とか〔illegible〕

北支 にもそれ〳〵警備を〔illegible〕

牛と松葉を盜む

〔illegible〕

惠比須像で強請す

〔illegible〕

京中の武道大會 廿六日開催

〔illegible〕

十日目取組

〔illegible〕

人參湯

〔illegible〕

訂正 十六日附朝刊七面記事「三つの事件」中漢江通八山田〔illegible〕に訂正

第五期決算報告

自昭和三年七月一日 至同年十二月三十一日

貸借對照表

〔illegible〕

土地改良株式會社

〔illegible〕

キューピーマヨネーズ

いつでも どこでも だれにでも

〔illegible〕食品工業株式會社

空氣氣候療養所 呼吸器病專門 虹ヶ濱病院

〔illegible〕

明太子 上等で安い

〔illegible〕 尾上商店

新書案内

〔illegible〕

京城 明治町 森書店 振替京城九九二 電本局三四三

シンアロルート ニレット ソフトドウビスケット

品の良いこと おいしいこと

全国到る處の菓子店食料品店にあります

東洋製菓株式會社 東京品川

優等清酒 登錄商標 鶴の丹

原田吟釀

京城大和町 若松支店 鍛冶酒店 本局二〇二一番

京城貿金町 大勝酒店 本局二二九九番

ノーシン! ノーシン! 頭痛に「ノーシン」

特許 専賣 ハクキンシ懷爐

法螺も吹かねし自慢もせぬが二十四時間火持ちは保證付〔illegible〕

咸北炭發賣 御披露

○朝鮮炭中の覇王咸北炭を炭坑直接皆樣の御家庭に御屆け致します
○品質は漆黑色にて光澤優れ火付良く火持永く白煙無臭火氣強く木炭代用として理想的定評のある最優良品であります
○用途はストーブ、溫突、ペーチカ、風呂焚ボイラー用何れにも適して居ります

値段は咸北炭(舊鷄林炭)一噸に付金拾六圓五十錢也(市內御屆値)

御注文は 南大門通日本生命ビル 鳳山炭坑出張所內 咸北炭坑 電話本局一七九一番

一九二八年映畫界の概括的な回顧

力伯仲せる外國映畫　中心は劇場完成時代

一九二八年の映畫界を通じて多事多端な出來事のあとをたどり、そこに一貫した米國映畫界の動向なり、大勢なりをうかゞふことが必ずしも目的でないが、もし最的にそれを指示することが可能ならば當然この記述も無意味ではなくなるが、ここには主として回顧的に顯なる出來事の二三とその一九二九年度映畫界に殘した意味とについて、

概括的に 述べて見るなら米國における映畫界を席捲したトーキー映畫の出現は、國內においては日本映畫界にとつて對岸の火災程度の感銘しか與へなかつたとはいへ、[illegible]以來の暗中がいまにも掴み出せるかの如くに傳へられ、米國本土においては各社競つてトーキーの製作をはじめパラマウント、フオックス、ユニヴアサル、ユナイテッド、アーチスツその他がソーナー社につゞいて立つた。日本でも恰もトーキー時代がすぐ眼の前に近づいたかの如く、日本トーキー株式會社が設立されたりした。然しこれには明白な多くの

實情から 可能の範圍は狹められる結果となり、黑と白と沈默が映畫の價値であるとしてトーキーを排斥と容へたりする反對論者を安心させたが、もう一つの注目すべき現象は、劇場新築完成への新興であつた。[illegible]建築で誇へてゐた營業館の大建築が續々新築完成を見ると共に、一方新興映畫館經營が有望視されるにおよんで東京市內目拔の場所、丸の內、銀座、淺草等を中心にこれが新館の具體化すもの續出し[illegible]と目せられる二三の館に比して優に三館のキヤパシテイを有する丸の內[illegible]が擧げられてゐる。これらは昨年度における新映畫館經營ではあつたといふのはこれらの諸館がいづれも外國映畫の封切館となるため外國映畫の系統の上にいちじるしき發展を與へる基となるべきは勿論

本建築の 續成せる新館の二三においてこれをうかゞふに[illegible]を思はせた。そしてなほかつこの映畫館の完成のあかつきはかつては、新館經營をかこつてゐた館經營者はその系統の經營化につれて國際的チエーンの獲得に努め[illegible]の基礎の上に日と共に火花のちるやうな[illegible]

年少者の 映畫による影響の問題は今後教育者ならずとも深刻に考慮さるべきではないからこのまゝ立消えとなるべきものではあるまい。更に[illegible]に關する各種の問題が[illegible]繰返された、個人的觀點に見れば日活の橫田社長、松竹の大谷社長兩氏の表彰されたこと、映畫業者を自邸に招いて懇談した[illegible]文相、城戶蒲田撮影所長の渡米および日本映畫の[illegible]を促進せしめたこと、河合プロダクシヨンの創立、[illegible]プロの出現等も注目すべき出來事で、なかんづく河合プロの如きは[illegible]によつて立つべき地步を[illegible]の支持にまたんとするのみにても意味あることで大衆を背負つて大衆の支持に力づき、[illegible]

權利爭奪 を自ら執らんとする[illegible]

ましさを現出し、そしてそれが營業と城とにおいて日本物の上映館の牙城に迫る結果となるべきが明かであるからである。それから一方興行からは可なり注目されたのは兒童映畫デーの實施でこれは市の社會教育課[illegible]が自ら五社協議と謀つて各方面からその試みは期待されてをり、全國各府縣において漸次この試みが實現されたやうであつたが最近は[illegible]が取沙汰されてゐる

つて元の同樣となつてゐるのは遺憾である。各社について見るなら、東亞キネマは[illegible]、東京の[illegible]社も[illegible]氏から河野[illegible]に就任し、小笹正人氏辭任して白水光藏氏が入社したが、

一昨年來 の猛烈な更生の聲も一時立ち消えに見え、日活は橫田氏社長となつて西本、木村、[illegible]三部へ三氏が就任し、[illegible]等も相ついで[illegible]河內の「大[illegible]」は日本時代劇[illegible]映畫のレベルを引き上げ、マキノは「[illegible]」の一部を[illegible]、月形の脫退、勝見プロの分離、後半期に至つて「大化新政」の[illegible]に雛を

統割して いさゝか實權の力薄く、大日本ユ社は[illegible]昨春の移動となり[illegible]大阪支社の經營となるや昔日をしのぶのみである。コロンビア映畫はスター、フイルム社に移つて「ブラッド、シップ」に止めをさし春は「サブマリン」に期待を置く。ワーナーまた立花良介氏にまつて後半期やゝ動き「熱帶征服」その他[illegible]、F、N社スタンレーと合同後フオックスがこれを買收したとて一時は大騷ぎを演じ、オーコンナー氏の歸米後ゲラーク總支配人の積極的經營策か効を奏し「ゴリラ」「[illegible]」「トロイ情史」「ライラック、タイム」「乙女よ純なれ」等ワーナー映畫は「メトロポリス」の[illegible]評判と「エムデン」で[illegible]した出口[illegible]が「フアウスト」「なつかしのパリー」と[illegible]さしめたが「聖山」以後部內の

動搖から 日本ウーフアにも轉身して[illegible]「メトロポリス」をめぐる一抹の妖雲はなかなか拂はれぬ、要するにその作品においては決して惡しくはなかつた

顧客を狂はせ、蒲田[illegible]に[illegible]多く「外國映畫」はユナイト社「サーカス」「ガウチョ」に氣を吐いたが、ミトロを得て「ベンハー」「メリー、ウイドウ」「テムペスト」を[illegible]に[illegible]して價値を示す。パラマウント社は「[illegible]」「結婚行進曲」「つばさ」「[illegible]」[illegible]、フオックスは「サンライズ」「第七天國」等あるがグッドマン氏去つてクラレンス、ヘーク氏支社を

カゲセリフ

◇……「よき映畫をほめる[illegible]」生る何時までも[illegible]くか？
◇……日活のドル箱大河內傳次郎、[illegible]を[illegible]するとの[illegible]、理由は給金[illegible]
◇……「[illegible]映畫のその後」……たゞそれだけ
◇……竹本さん一體どないなりましたか
◇……[illegible]と一緒に來た[illegible]、今度いよいよ[illegible]で、[illegible]の女優として名聲をあげる。
◇……何しろ[illegible]から女優になつたのは[illegible]といふので大の[illegible]

つたが、何れも內容興行價値において相當伸し、從つて特に群を拔いて目立つものが少ないやうに思はれるに過ぎまい。何れにしても各方面にわたつて種々の打擊と、[illegible]に逢着する[illegible]とかされ、映畫事業といへば[illegible]なものといふやうな[illegible]次第に[illegible]、新らしく迎へた年においては漸次完成さるべき[illegible]解決を求めて行くものとすれば正に本年は「大吉」に相當するに違ひない（おはり）

紙上議論

—日本映畫界に對する—

森岩雄

日本映畫界に對する[illegible]の議論を試みやうと思ふ。まづ規模を大にして、日本映畫界對外國映畫界の問題からはじめる。日本は元來[illegible]、常に映畫上の後進國であり、外國映畫の[illegible]によつて、漸次今日の地步を占めるに至つたのである。その間、[illegible]を被る以外のことは殆どなし得ない狀態である。少くとも、市川左團次によつてロシアに「カブキ」を紹介したことすら、日本映畫は[illegible]的に積極的な態度を示してはゐない。その代り、歐米映畫、殊に映畫上の理論の輸入については、日本は正に世界有數であらう。米國映畫の[illegible]なる作品は殆ど大部分が輸入されることは勿論、獨、佛、英の[illegible]も、もし[illegible]ないうちに、日本市場にあらはれるやうになつてゐる。現に、外人によつて[illegible]されてゐる[illegible]によつて[illegible]されたもののうちで、[illegible]、それに先立つて、[illegible]

映畫製作上の理論は、[illegible]して發行されたものはいまでも[illegible]價値あるものは、殆ど[illegible]紹介されて、そのあたりに何等の[illegible]はない程である。

これを文學と比較する時、外國文學のいかにも[illegible]紹介の運かなことには感心するが、映畫の如く[illegible]的ではなく、[illegible]からいつても、映畫程ではない場合が多いと思ふ。第一、映畫の[illegible]を[illegible]されるものは、映畫中の文學的材料である「字幕」だけで、生命である[illegible]は斷るまでも、原形そのまゝが映し出されるのである。更にこれを、映畫と形式において最も近似してゐる「演劇」と比較する時、われわれは「外國演劇」の姿をとらへるには、その一要素たる脚本を讀み、[illegible]の寫眞を見、更に演出者の「意見」、又は「批評」の紹介等によつて想像するより他にはなく、その[illegible]を把握することは到底出來得ないことである。それに比べて、映畫はどうであらう。われわれは[illegible]ニユーヨークで、パリーで、ベルリンで封切られたそのまゝのプリントに接することが出來るのである。かうした[illegible]からばかり考へても映畫に[illegible]が、いかに[illegible]、いかに正確に觀察し、とり入れるべきところはとり入れることが出來るか、[illegible]きものがある。

その上に、價値ある[illegible]、および批評家の文獻の紹介は不斷の注意と努力によつて[illegible]されてゐるし、「映畫の國際化」は、あらゆる文化的事業の中で、最も有効にかつ敏速に行はれてゐるのである。

だから、われわれはチヤプリンの心を、ムルナウの意匠を、ガンスの信仰を、何等の[illegible]なしに、そのまゝスクリンの上で[illegible]れるのである。しかも、それはいはゆる「少數なる知識階級」ばかりではなく、ひろく大衆の[illegible]にである。

かくの如くに、日本映畫界は、外國映畫の影響を受けることは[illegible]めて便利な立場にあつて、何等の障壁も、文學の如くに、演劇の如くに感ずる必要はないのである。ところが、右樣なる有利な日本映畫界にして、私の意見に從へば不滿なることがこゝにある。それは「[illegible]」の著しく[illegible]な[illegible]の[illegible]がこの不滿を除去しなければならない[illegible]なのである。（つゞく）

寫眞說明　上、左ベン、ハー（[illegible]）右開化異相（大[illegible]）下ベン、ハー批評會

ベン・ハーの批評會

十七日基督教青年會で

出席者　笠谷保太郎　渡部久吉　吉川二郎　伊奈文夫　宮川吉[illegible]雄　築　厚人

笠「[illegible]私がアメリカに行つた當時、撮影（ボリウッド）で遊んだ時があつたがその當時ベンハーがニユーヨークで上映されて大變な人氣だつた、何しろ映畫だけでもかけれないな[illegible]五十[illegible]使つており[illegible]利に[illegible]たとの事でしたね」

吉「私も一度その時分アメリカに居てサンフランシスコでこれを見ましたが實際製作にかかつただけにこの映畫には全く感服したね」

伊「[illegible]の小說をかひ繰り返み、つづけた」

伊「不運にあつたメトロが全[illegible]を集中して作成しただけに、[illegible]にスペンデルなワンダフルな映畫だ」

渡「映畫始まつて以來人類が誇りうる映畫中の最大作品といつても過言ではない話だね」

宮「部分映畫をみたがこの映畫には全く感服したね」

築「原作はルウ、ヒハス大將[illegible]したね、彼はユダヤ系のアメリカ人だらう、この映畫は全體を通じてユダヤ人の誇りを示してる樣にみへる」

伊「同感だ、神と讚へられてゐるキリストもジユウだし、映畫の主人公ベンハーもジユウ、しかもローマ人にあらずは人にあらずと[illegible]されてゐたあの時代を[illegible]つた民族を綜合するとその感じが深くなる」

宮「總評にうつらう、監督フレッド、ニブロの腕は素晴らしいね、歷史上の競ひ、戰車競爭の脚色等フアツシユやカットを使用せずよくあれだけのものをまとめたね」

伊「しかもだれさせずに」

吉「そういへばこの映畫は從來の宗教映畫と比較して非常に『スピード』があるね」

渡「ニブロの頭のよさがわかる」

笠「キリストをあらはす場合[illegible]を見せず手だけを出したのは成功だね」

築「だけれどその影くらゐは出してほしかつた。大ぎにキヤメラだ」

伊「いゝね、殊に戰車競爭の時には四十數臺もキヤメラを使つたそうだが[illegible]」

笠「[illegible]の競爭物では戰爭の[illegible]が近くすごくふるへつけなかつたが[illegible]だね」

吉「あそこまで行けば[illegible]と思ないね、キヤメラは凄いよ」

笠「ナバロのベンハーはいゝね」

築「ラモン、ナバロといへば[illegible]できこへており何となく野性美な力が缺けてゐる樣な氣がするがこのベン、ハーはたしかにはまり役だ」

伊「そうだ　やさしい中にも力強い所ありればばかりにたけてゐる點」

渡「ナバロはこれによつて更に一段と名聲を高からうだらうネ」

宮「ブツシユマンのメツサラもよいね」「[illegible]時代の武人らしい」

築「ベン、ハーとメツサラ、いゝ相手だね」

宮「カーメル、マイヤースの妖婦イラスはよかつたね、他の映畫にしか出て來ないが[illegible]」

伊「しかもげびてゐなくてね」

吉「ブロンソンのマリヤもよかつたね。」

渡「[illegible]を通してみると名だかい[illegible]」

これのマリヤは温味がふくまれて實に人格しい」

宮「メークアップをぼかすといゝ」

築「マツカヴオイのエスサも奴隷の娘といふ感が出てよかつた」

笠「あれだけの作品だもの、配役陣に一點の非のさしどころがないのが當然だ」

伊「ダヴインチの繪畫を天然色であらはしたのは成功だ」

渡「殊に海戰の所などね」

宮「總評にうつらう」

築「スケールの雄大、二個所のクライマックス、觀客をだらさない點、それで更に宗教味をしらずしらずの中にもつてゐる點」

伊「そうだ興行價値は第一等だ」

吉「[illegible]パーセントだ」

JODK

プログラム　一月十九日（土曜日）

午前一〇、三〇　天氣豫報
同一一、〇〇　氣象概況、各地値段
午後〇、三〇　料理獻立、日用品

同三、四五　童話「[illegible]武士」
同四、四〇　ニユース　中野東時
同六、〇〇　春場所大角力實況中繼放送（十日目）
同七、〇〇　童話「[illegible]の兄と[illegible]」[illegible]
同七、二五　西鮮雜曲と大[illegible]合[illegible]
同七、[illegible]　[illegible]　大阪中座より
同　[illegible]　大森[illegible]作「[illegible]」　國技館ヨリ
中村雁治郎一座

京龍館　十九日より[illegible]アフリカ探險（全[illegible]）[illegible]徳川良子[illegible]江戶三[illegible]指揮[illegible]最終篇（全十[illegible]）阿部[illegible]外オールスターキヤスト

久しく内地の聽衆に[illegible]てゐた[illegible]——二つ共に時代の流れにつて何々歌舞伎[illegible]がマイクロホンを通じて全國ファンに解放されるる時が來た。[illegible]からの中繼は[illegible]であり出し物は大阪中座新春興行の大[illegible]氏新作[illegible]十郎兵衞[illegible]時間を全部[illegible]して之に充當したのである多大の期待を以てお聽きを願ひます

將棋新手合（二）

於東京市日本橋區蠣殼町一ノ四　[illegible]

千手文[illegible]　六段[illegible]（東京）
香落番　六段[illegible]（東京）
（圖は前號百了の局面）

[illegible]

以下次號

（上手）三六步突きは面白くない此處は、四五桂と跳ねる所であ[illegible]
（下手）一二飛打らは、當然の攻めである[illegible]、良い手である
（上手）同銀は惡手である、此處は二六角と上つて置く處である
（下手）一五飛成と、飛角を取るのは當然である
（上手）二八飛打らは、決戰の[illegible]味である

りん病の方へ
グラト療法を無料で差上げます

永年苦しんだ慢性淋の方もかゝつて日の淺い急性の人もりん病になやむのはキヽメのスグわかる「グラト療法」のある事を知らぬ人と思ひます、りん病になやむ方はウマイ[illegible]文句で賣りつける高價な無效藥などに迷はず安い費用で、ヨク早く完全になほす事の出來る

「グラト療法」をスグ試めして下さい「グラト療法」の詳細と私のなほつた實驗談は申込次第[illegible]無料で差上げます、[illegible]が目的の[illegible]でありません、故[illegible]方は必ず郵券を一枚封入して下さい。

東京市外上尾久町[illegible]前　精工社內　齋藤鐵火生

初春のお髮
ゆかしき春ぬれ羽の艶
いつでもこの若やぎをたもつ
最良香油
おはつ油

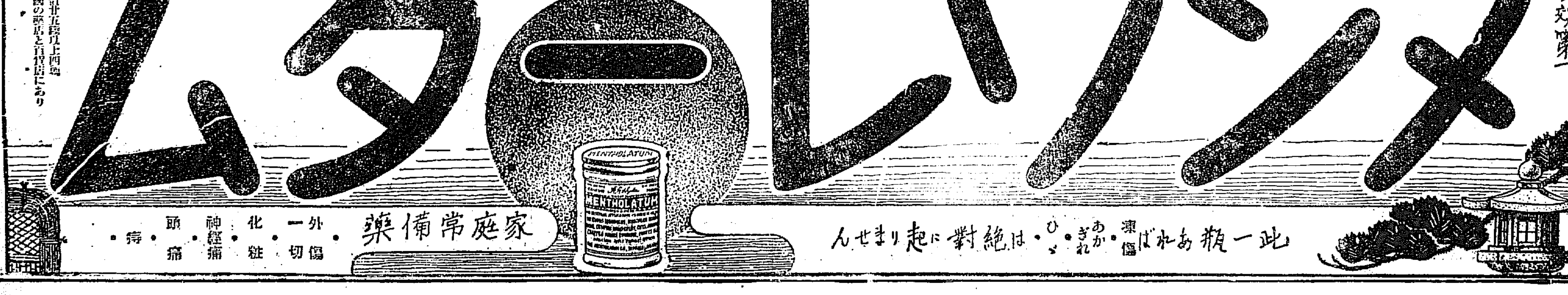
懷中良藥
ゼム
口中のど胃腸の營養に
何と言つても
消化と口臭[illegible]
大ゼム
Ａゼム
聲を美化し

胃腸病と婦人病に折紙付効力
温灸器
[illegible]
現品に使用法付
東京市日本橋區小網町二丁目
發賣元　釜屋もぐさ店
振替東京四一五〇番

洗濯不用　純毛防寒
特許
フェルトカラー
デパート洋品店にあり
發賣元　フェルトカラー商會
林[illegible]商店

發明品特約店急募
月收五百圓確實
村田製作所

無代送呈
無努力　簡易
禁煙法
無努力で煙草のやまる新案の禁煙法が出來た、煙草さえやめれば……
お申込は往復端書にて
グランド社



實効第一
メンソレータム
此一瓶あればひゞ・あかぎれ・凍傷は絶對に起りません
家庭常備藥
外傷・切傷・化膿・神經痛・頭痛・痔
定價廿五錢以上四種
全國の藥店と百貨店にあり

海難が多いので 船體保險を引上げたい

保險會社は收支償はない

船體保險は昭和二年十一月二十日各種目にわたつて一割乃至二割の値上げを行ひ、現在に至つたが、最近保險料の收支が相償はぬので東京船體保險協同會では又々引上げ案を講ずるに至つた即ち昭和二年度の海難狀況を示すと左の如し

種類	件數	内全損
沈沒	三三五	二二
火災	一〇四	九
他船と衝突	一四四	一
其他と衝突	五〇二	一
氷害	二五四	一
其他	四〇	一
合計	一、二五七	三四

二年度の保險料收入は一千五百五十萬圓あり、この内、海難損害に對する支出は全損三十四隻、六萬二百トンで支拂額七百三十九萬圓に達したが、昭和三年度は更に海難多く、保險料收入より損害支拂の方が超過するに至り、到底現在の保險料率では、各社の經營が出來ないといふのである。この結果、船舶保險協會は近く一割乃至二割の引上げを見そうな進行である

自家保險説が擡頭しそう

船體保險協同會の船體保險料引上げ案について船主側ではこれが對策を講じてゐる。即ち昨年（三年十一月）引上げた當時も船主側が反對し船主自家保險をつけんと策動したが、實現せず今日まで保險協同會と船主側との紛糾を續けてゐる。この結果今回更に保險料[illegible]

精米業者困る

精白米の需少し

[illegible]の引下げは行はれるとせば、若[illegible]値を感じてゐた精米業者はこれが[illegible]策として再び自家保險策に傾いて來るはずで、その成行きは頗る注目されてゐる

京城の精米業者は鮮米の移出旺盛[illegible]地方のため精米需要に乏しく、精米業者は移出米の[illegible]に對して[illegible]

定期保險を申請

明治生命の新試み

實現の可否注目さる

行き詰つた生命保險の打開策として、明治生命は今回定期保險を認可申請することになり、大藏省に認可申請[illegible]を提出するに至つた右内容は[illegible]六ケ月間の有期間保險をごく低率にし[illegible]六ケ月後いよ〳〵本契約に移すの[illegible]

日糖の賣り計畫

問屋製度も認めぬ　…精、共販に暗影

内地における砂糖の共同販賣協定は漸々進んで今一息で完了といふところまでこぎつけ、東京、大阪、名古屋、下關等の四大市場でもこの供給組合の意向に基いて問屋組合を組織しかけてゐたが、そのやさきへ大日本製糖が突如直接販賣[illegible]

慶一銀減資

鮮銀の融資で内容を刷新

大邱慶一銀行は[illegible]

鮮内郵貯増加

京城貯金管理所の發表に依る[illegible]

組銀預金貸付

京城商議調査

京城商議調査、京城組合銀行十二月末預金貸出状況は左の如し（單位千圓）

	十二月中	比較
貸出	[illegible]	[illegible]
預金	[illegible]	[illegible]

積荷は少く 各港滯貨激増

併し形勢一變か

[illegible]

昨年度の外國貿易

入超一億二千萬圓

植民地を加へ入超三億三千萬圓

【京城電話】大藏省發表、昭和三年度外國貿易は左の如し（單位千圓）

輸出	一、九七一、九五〇	
輸入	二、一九六、[illegible]	
入超	二二四、一六〇	

これを前年度に比すれば輸出[illegible]

為替受拂狀況

京城商議調査、京城組合銀行十二月中の為替受拂高は左の如し（單位千圓、拂出超過）

	受入	拂出	受拂超過
朝鮮内	[illegible]	[illegible]	[illegible]
内地	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿洲及支那	[illegible]	[illegible]	[illegible]
外國	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

擔保貸増加

京城商議調査、京城組合銀行十二月末現在商品擔保貸出高は左の如し（單位千圓）

	十二月末	前月比増	前年同期比増
朝鮮商品	九三〇	一八三	二一二
輸移入品	一、七〇五	一七一	二三五
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京南鐵の延長資金内容

拂込と短期借入

[illegible]

土改總會平穩

朝鮮土地改良定時總會は十八日京城[illegible]

牛移出増加

[illegible]

京南鐵拂込完了

[illegible]

ゴムは波瀾合

[illegible]

綿布保合

[illegible]

海外經濟電報

[illegible]

穗落

[illegible]

株式（十八日）

京取短期

[illegible]

大株短期

[illegible]

大株長期

[illegible]

株式

警戒濃厚で一呼吸

併し買氣は旺盛

[illegible]

買氣引立ち又締る

[illegible]

東新の回復を期待す

[illegible]

此邊出直るか

[illegible]

諸株の好轉で京取弗々擡頭す

[illegible]

大新代引減少

日歩一錢引上げ

[illegible]

利喰賣現れ 商内は賑ふ

[illegible]

今日の手口

[illegible]

本玉

[illegible]

つよきよわき

[illegible]

期米（十八日）

仁川

[illegible]

期米

採合つたが引際に跳返す

[illegible]

一時弛んだがアト引戻す

[illegible]

人氣が萎えて反現象を起すか

[illegible]

一般に注目す

[illegible]

大阪期米市況

[illegible]

鮮内延べ（十八日）

[illegible]

京城正米

[illegible]

全部出來不申

正米

大豆

株式現物專門　京城明治町二丁目　大原現物店　本局一九三番

仁川期米各店仮合

[illegible]

仁川穀物出入（十八日）

[illegible]

群山廻米報（十八日）

[illegible]

京城穀物組合建値

[illegible]

仁川正米

[illegible]

仁川期米　福

京城手形交換高（十八日）

[illegible]

義人侠勇實録 後藤半四郎 (98)

桃川如燕口演　野口紅厓畫

[illegible]

京城日報 朝刊
發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社

生徒募集

京都 同志社女學校專門學部

英文豫科八拾名（入學資格 高等女學校卒業者） 英文一年八拾名 家政科一年百名

入學試驗 三月二十二日、二十三日、二十五日

卒業者は文部省高等教員試驗檢定の特典あり
規則書及び入學案內二錢郵券封入申込まれたし
受驗地 第一京都市本校 第二京城府 淑明女子高等普通學校

滿蒙の鐵道網 附滿蒙都邑一覽

忽二版

賜天覽臺覽 大島與吉著

附錄 滿蒙鐵道一覽圖 滿洲都邑一覽圖

菊判三百頁箱入 定價金貳圓 地方送料金拾貳錢

本判再版にあたり………戸野みちゑ曰く

十數年前私は、滿鮮と北支那の一部とを視察致しました。其の際私共はハルビンに行つて、沖、横川兩志士の墓に詣で、そぼふる雨の中に當時を回想して、無限の感慨に涙を呑んだのであります。本書の著者大島與吉氏も亦、當時志士の一人として、沖、横川氏等と同じく、御國の爲めに艱難辛苦を管め、幾多の功勞を勵はされた事を承り、尙其の滿蒙の鐵道網に序文を書いてくれぬかと依頼されました。私は著者とは一面識もないのでありますが、著者に對して敬慕の念感謝の心を起したのと、支那に對して特に興味を有つて居るかと言へば私は二十數年の昔、南支那湖北省に於て、同國女子の教育に從つた事がありました爲に、支那に對して多少の智識を有つて居るのであります故へ、又前申した樣に特に滿蒙に就ていろいろと考へさせられる事が多くなつたのであります。目下の東三省の形勢に就ても少からず氣がかりなのであります。本書を拜見致しますと、名は鐵道網であるが、單に鐵道の事ばかりでなく滿蒙に就て非常に必要であると思はれる、幾多の事柄が記載されて居るのであります。猶ほ東洋の平和に就て考慮せられる人々にとつては、特に我等日本人にとつては、大に參考とすべきものである事は疑のない事實であると、私は深く信ずるのであります。此の意味に於て本書が世に公にされた事を、大に慶ぶとするものであります。而して著者の苦心に對して深甚の同情と尊敬の意を表します。

發兌 京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五七二番 電話本局六八四番

運轉手講義録

▼自動車通信教授の理想的獨學機關
▼新學期開始！
▼自動車の參考書

山田自動車學校 山田出版株式會社

新着案內

京明治町 森書店 振替京城九九一三 電本局三四三

大田名物 リンゴ カステラ 中田常

創立明治參拾貳年 倉庫業兼營

京城府南大門通貳丁目百拾壹番地

株式會社 朝鮮商業銀行

頭取 和田一郎 副頭取 朴榮喆

專賣特許第七三〇五五號
新案特許第九一三五五號

笹田式撰穀機

（型錄進呈）

▲籾！玄米！石拔に▼

二大特長を有するは本機をおいて他に其の比類無し

理想!!研究!!苦心の結果愈々完全無缺の本機に御下命を！

新穀輸出の御準備に是非本機を!!

撰穀機 農具一切 製造發賣元 合資會社 笹田商會 釜山府榮町二丁目 電話二四二番

大日本百科全集

各冊五百頁ヨリ千頁マデ 特製函入の美本

何れも日常の百科常識寶典

誠文堂 東京神田錦町一丁目 振替東京四五二四〇

一月廿日特賣〆切 〆切後は直ちに定價一圓五十錢に復舊す

どれでもよりどり僅か壹圓

本書を讀まずして人生無し

性典

醫學博士 赤津誠內先生著

男女性の教科書 本書は赤津博士の代表的著述で主として男女の性の快美の增進法を說き併せて不妊避妊不感症等の實際問題と性慾增進法並に花柳病の豫防と治療に關し著者專門の明快な指導を試みられた稀に見る名著です

四六判六百頁餘 普通壹圓五十錢 特價壹圓（送料十二錢） 布クロース裝幀 特製函入の美本

夫婦愛のお手本

妊娠と育兒 醫學博士 佐久間兼信先生著

自療と民間藥 醫學博士 田所良吉先生著

家庭醫學 醫學博士 岡本京太郎先生著

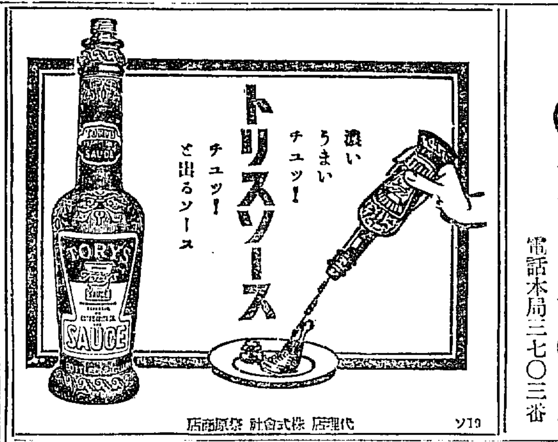
家庭管理法 女大教授 井上秀子先生著

家庭日常科學 理學士 原田三夫先生著

家庭料理 割烹學校 秋穗敬子先生著

和洋裁縫 技藝學校 戶板關子先生著

編物と手藝 岡田正子 河野富子 兩先生著



統營名物 乾魚各種直賣

弊店は統營より直仕入なれば卸值を以て販賣致し居候

京城府明治町二丁目（私設市場内）

荒木乾物店 電話本局三七〇三番

理研ヴィタミンA

財團法人 理化學研究所創製 世界十一ケ國政府特許

世界唯一の榮養劑 ヴィタミンAの始祖

說明書（文獻）進呈

定價 四十球入 二圓 百球入 五圓 五百球入 二拾二圓 千球入 四拾三圓

東京本鄉駒込上富士前町 發賣元 理化學興業株式會社

A.25

朝鮮地圖販賣元は（一覽表進呈）

京城長谷川町 小林又七朝鮮地圖部

袪痰鎭咳新藥 パラギン

袪痰鎭咳藥として醫療上最も賞用せらるるゼネガ根（Radix Senegae）の有効成分を完全に抽出したるものにして長期持續服用するも食慾不振、消化障碍等の副作用を起すことなし

急性及慢性氣管支加答兒、加答兒性肺炎及流行性感冒による咳嗽、氣管支喘息、百日咳

粉末 100瓦 ¥1.80 450瓦 ¥7.00	液劑 100瓦 ¥0.70 450瓦 ¥2.30	錠劑 50錠 ¥0.85 100錠 ¥1.50

元賣發造製 第一製藥株式會社 東京市日本橋區元大工町 大阪市東區平野町二丁目

不動產競賣公告

京城地方法院

商業登記公告

水原支廳

商業登記公告

鎭南浦支廳

商業登記公告

金堤出張所

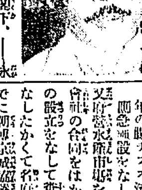
山口銀行 京城支店

朝鮮官界の大異動
至公至平の人材登用
十八日決定發表さる

總督府人事異動は十八日左の如く發表されたが、今回の移動は最近における朝鮮官界の大移動であつた。局長、五知事長官の依願退官を見たるは後進のために途を開くべく勇退したのであり又聞するところによればそれ〲現職における事務的整理に入るべく內定しをり、その他何れも適材適所の異動であり、これ總督、總監の至公至平なる人材登用として一般から好評を以て迎へられてゐる

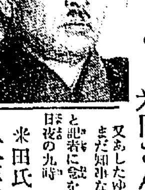
總督府事務官 渡邊豐日子 任總督府山林部長(二等)
全羅北道知事 渡邊忍 任京畿道知事(二等)
總督府殖產局參事 林茂樹 任全羅北道知事(二等)
休職滋賀縣知事 今村正美 任慶尙北道知事(二等)
慶尙北道知事 須藤素 任慶尙南道知事(二等)
總督府山林部長 園田寬 任平安南道知事(二等)
京城府尹 馬野精一 任咸鏡南道知事(二等)
平安南道參與官 金瑞圭 任全羅南道知事(二等)

依願免本官(各通)
咸鏡南道知事 中野太三郎
平安南道知事 青木戒三
慶尙南道知事 水口隆三
京畿道知事 米田甚太郎
全羅南道知事 石鎭衡
總督府學務局長 李軫鎬



名府尹譽れを殘して 馬野氏が知事に
在任中の功績の數々

新咸鏡南道知事馬野精一閣下、――永年の知事の呼び聲がとう〲本物となつて京城府尹から知事へ飛びあがつた、僅に三年六ヶ月振の轉出、馬野閣下には寧ろ、まさに遅き榮轉である。京畿道警察部長から府尹に選ばれ、新任二ヶ月にして大正十四年の大洪水に直面した、其當時の府尹は晝夜兼行不眠不休で善後策につくし復興事業を行ひ二村洞部落民を桃花洞に移轉せしめた如き漢江新堤防に着手せる如きすべて同氏の活躍であつた次いで谷前府尹より繼された李完用邸の學校敷地賣收問題、家畜市場問題の解決に非凡なる手腕を見せ府政問題においては本年度より着手せんとする一千十萬圓の道路網計畫を確立せる外、百六十萬圓の上水道大擴張、汚物處分場の新設、府營住宅の建設、府營市場の新設、府營墓地の新設、大幹線道路を完成し、大下水の改修をなしたる外、府立病院を新設、新堂里の府營住宅地等にあざやかな手腕を揮ひ中にも大なる功績として傳へらるゝは府營電氣の完成である益々四學校組合の統合は貴松谷前府尹と共に永久に馬野府尹の名を止めて永劫に輝くであらう [illegible] 女學校のニコース問題ではよく徹底して [illegible] の確立をなし實業教育に力を注ぎ、女子實業學校の新設をなし社會方面では宿泊所を新設し [illegible] 內には更に機關の改革をなし他に對けて行政整理を行ひ事務能率の推進を期し新人材の登用をはかり [illegible] 都市計畫の基礎を [illegible] 又社會政策の方面では各種社會政策の實現をはかり、府史編纂に着手、公營市場の新設、小市場網整備、小下水の改修など枚擧にいとまなく昨年の腸チフス流行には遺憾なく防疫施設をなした又府營水產市場を設置し、各水產會社の合同をはかり又、肥料會社の設立をなして糞尿問題の解決をなしたかくて名府尹の名聲しくすでに朝鮮京城協贊會の設立を了し會長として縱橫の腕を揮はんとす



もう辭めても いゝ時分かね……
官界生活ザット卅年 と……米田さんは語る

京畿道知事米田甚太郎氏は辭職をすてゝ閑地につく事となつたが米田閣下にとふと『俺はまだやめてやしないぜ、だから退官後のことを聞かれるのは……』と豪傑笑ひで記者を吹き飛ばしたそれでも話しのあひまに『隱退一』がもよい〲と浮ぶのは卅年の官界生活を歩る人の深い感慨からであらう
『知事はやめたくないがもうやめても好い時分かね、官界生活ざつと卅年君達の生れぬ以前だらうな、色々な思出もあるし感慨も深い學校を出ると、北海道で屬もしたし檢事もした、栃木縣で五年秋田縣で四年と言つた地方官をし石川縣で內務部長を二年つとめて朝鮮へやつて來た北知事を二年、平南が三年、京畿道が滿三年、八年の朝鮮生活である、八年も居ると一寸は去れない、從つて天涯孤々の身となつても京城住ひをしたいもんだまあ借金が出來ないだけとり得さ、何れ、何か喰ひはぐれのない樣に何かさがすかね』と元氣一ぱいに語す

又あしたゆつくり役所で何はうまだ知事なんだからねと記者に鋒をおしていつた、十八日夜の九時

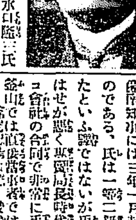
米田氏は 立志傳中の人

やめてゆく人、米田甚太郎氏は立志傳中の人である、明治八年石川縣の出生、早く東京に出て給仕より身を起し刻苦精勵などで苦學力行して、明治卅一年東京法學院を卒業し、翌年試驗のこうあつて判檢事登用試驗に合格し、司法官試補、札幌區裁判所、同地方裁判所檢事、北海道廳屬、栃木縣事務官、同警察部長、秋田石川各縣內務部長を歷任し次いで忠北、平南兩道知事を經て時の京畿道知事のあとをうけて京畿道に轉じて今日に至つたもので、京畿道三年の在任 [illegible] 灌漑の改善、堤防の改修 [illegible] つくし、他方道內の [illegible] 會社新設の許可その他 [illegible] また業務をあげ [illegible] なる手腕で、よく重縦を取からしめてゐるのである

京城は 頗る長い
馬野さんの話

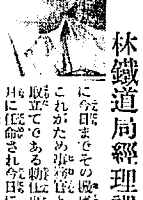
る矢先今回の轉出となつたものでこれだけは馬野閣下の殘り惜しく思ふ處であらう、新知事は明治四十一年早大出身、內地各縣の理事官を經て、大正八年朝鮮總督府事務官、[illegible] を經て、慶南警察部長として [illegible]、京畿道警察部長を經て京城府尹となつたもので、現に三等官の最右翼であり、今回の轉出は至當なるものと取沙汰され、名府尹の轉任を惜むと共に今回の榮轉をうたはれてゐる

兼職に府尹を一心におして居る馬野新知事閣下をたづねると また知事就かね君だこの感があるが、住み心地のよい京城を追出されるのはつかり君達は考へてるなと答へは一寸すげない、それでも明るい顏をあげて、ぼつ〲とうちあけ話しがつぎのやうなもの
京城は京畿道から引續いてかから頗る長い、從つて思出も深いがさてとなると、住み心地の上い位のところよりない官吏は命のまゝに行くので內命がある譯ではないし知事の辭令を受けたのではないから話はなんにもないぢやないか
と話はすゝまず、すゝまない話がくる〲まわつて居る



去り行く 水口氏
頗るの仕事師

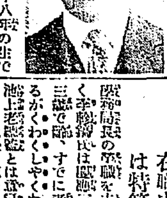
今回勇退した慶南知事水口隆三氏は明治十二年生れの五十一歲で、まだ若い從つて氏は今後に期待さるゝ所が多かつたであらうが後進のため途を開いたものとして一般から同情されてゐる
氏は愛知縣渥美郡の生れで明治四十二年東大政治科を出で同年八月統監府屬として渡鮮したのが官吏としての振出しである同年に高文を通過し大邱府事務官の財務監督局事務官となり、四十三年道事務官を歷任し、財務部長に任ぜられた、それから大正五年に度支部關稅課長入年財務局稅務課長十年總督府監察官兼專賣局事務官となつた同任になつたのは同年八月で翌任と同時に財務局理財課長に就任し十三年十二月に營林廠長に、それから十四年八月專賣局長に榮轉し慶南知事には三年一月赴任したものである、氏は一等二級で行詰つたといふ譯ではないが兎角逸り合はせが惡く專賣局長時代にはタバコ會社の合同で非常に手を焼き、釜山では商業者ではないとしても瓦電買收問題で目下釜山は騷の渦くが如く騷いでゐる、この騷ぎを後に職を去る氏も感慨無量であらう、氏が頗るの仕事師であつたことは各方面定評ある處で、理財課長時代醫藥銀行の合同をなして、世の視聽を集め專賣局長として煙草元賣捌き會社合同設立を斷行し、又煙草自家用耕作を廢止して專賣制度を確立せるなど世人の記憶に新なる處である



算盤捨てゝ 牧民官へ乘替
全北知事に榮轉の 林鐵道局經理課長

鐵道局經理課長から全北知事に榮轉した林茂樹氏を龍山の宅に訪ふと氏は寢臺に行つて留守である夫人は夕方外出から歸つてどこの宴か知らないとのこと、『それで主人は不在で、一つかはつて謝して下さい』といへばホヽヽと笑つて左の如く語る
京城には十四年も居いて住んでみますので榮轉ではありましても田舍に行くことはさびしいやうな氣が致します、さうですね京城では本府の司計課長、專賣局の事業課長を歷任致しまして大正十四年鐵道が滿鐵から本府に移管された際經理課長となつて參りましたそれ以來勤續に足かけ六年もゐますから鐵道の方とも大分知りあひが出來ますし子供は本町小學校の入學試驗を受けることになつてゐますから家庭の都合から申しますと城にゐたいような氣も致しますしかし轉ですから皆んな喜んでゐます

に今日まではその機會がなかつた、これがため事務官としては異數の取立てである勅任事務官に昨年五月に任命され今日にいたつてゐたこの榮轉あるは全く當然のことであると一般に喜ばれてゐる、氏を迎へる山林部は非常に適材を迎へられたもので部員も大喜びで氏の今後の活動は期待する所が大きい

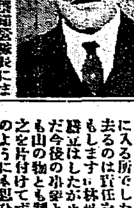


異數の 榮轉
渡邊豐日子氏

前慶北內務部長から山林部長に榮轉した渡邊豐日子氏は熊本縣阿蘇郡の人で明治十八年の生であるから本年四十五歲の働き盛りである、氏は四十五年東大獨法科を出で、大正三年高文を通過し東京府屬となつたのが官吏の振出しで、それから四年に宮城縣事務官、知事部事務官などを歷任し大正八年朝鮮總督府事務官として來任したのが朝鮮のはじめである
朝鮮に來て先づ內務局第一課長即ち今の地方課長となり十一年前後の庶務課長に轉じ引つゞき行し十三年八月慶北內務部長から庶務課長の職にあつた人である其は本府事務官の總古參で早くから要職が傳へられてゐたが

留守宅に 榮轉の喜び
夫人の話

山林部長になつた渡邊氏は鄉里に不幸があつて十七日夜京城を發し內地に向つたが夫人はかはつて左の如く語る
また何んの通知もありませんが左樣ですか山林部長ですかどうぞよろしく御願しますまで宅は何も知らずに居りましたし公報が參りましたら知らせやうと思つてゐます山林部にかはりましても同じ役所で京城にゐることでもありますし、庶務課の仕事ですから、私共は一向變つたことでもありません、それでもしたら主人も勝手が判つてゐて喜ぶことでせう 內地は一週間の豫定です
と嬉ばしげに語つた



後進に讓る 李軫鎬氏
在職中の功績は特筆に値す

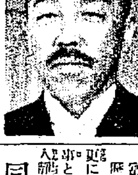
學務局長の榮職を去つて閑地につく李軫鎬氏は慶尙北道の生れの六十三歲で、すでに老境に入つてゐるがかく〲やくたる冠冠を帶しつた、今回の退官は全く後進に途を讓くもので池上總監とは舊知己の仲である
氏は明治十九年韓國政府の錬武公院を卒業し同卅一年七月調練院判官を振出しに武人生活に入り卅七年には平壤鎭衛隊長になつて來往しその後金玉均事件に連坐して日本に亡命し亡命中政府から死刑に處せられたが四十年特赦にあつて歸國し平安南道觀察使に拔擢されたこれから更に十三年十二月朝鮮人最初の局長として學務局長に任命された人である、氏は足かけ六ヶ年學務局長として朝鮮の學務行政に盡する氏在任中の顯な仕事は京城大學の完成や池上總監を補佐して普通教育の一面一校完成、師範教育の改善等に關する具體案を作成すでに明年度豫算にはこれが實現を着手しようといふ今日退官することは後進に途を讓くとはいへ氏としては感慨の念があらう

榮轉の先頭
新全北知事の 金瑞圭氏

新全羅南道知事金瑞圭氏は平安南道參與官から榮轉したので今回の異動中儲け頭といはれてゐる、氏は參與官中の最右翼で、咸北參與官として久しく昨年平安南道參與官として令名あり今回の榮轉となつたものである

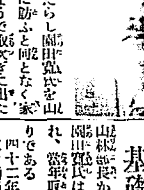
眞實とは 信じられぬ
金知事語る

【平壤特電】新全南知事の金瑞圭氏を訪ねると
全南知事ですつて。突然の事でびつくりします、官界生活廿八年高等官になつて廿四年です由外部主事から出して釜山、馬山群山の [illegible] 判所檢事となり [illegible] に次でなつたが、統監府廢止で廢官となり五ケ月遊んだ後、やり咸北參與官となり一昨年八月平南に轉じたものです、つまらない私が榮轉などとは夢にも思つてゐなかつた全南道は新任知事のいつた事のない處なので ほんとは信ぜられぬが、ほんとなれば全力をつくし、前任者の意をつぎつくすつもりである



玄洋社出の 中野氏
後進に途を開く爲勇退

中野太三郎氏は福岡市の出で玄洋社のバリ〲である 明治十三年生れの當年五十歲で東大を出たのが明治三十九年卒業後更に大學院に入り國際法を研究した氏が一時學者的趣味を有するのも一時研究を以て立たうとした、靑年時代に影響する所が多からう官吏となつたは總督府統監府に生粹の朝鮮官吏として勤めてゐる朝鮮にあつては平壤にも明治四十一年以來今日に到つてゐる統監府に隨任し總督政治となつてから直ちに府尹に任命され鎭南浦、大邱等に稼ぎ、正八年道事務官となり平南警察部長に榮轉したのである成北知事となつたが今までの官吏とされ、慶北警察部長から知事になつたのは [illegible] 今日までの氏を通じて榮轉なく全く異數の提たが一等二級で行き詰つたといふ譯ではなくまづ後進のため途を開いたものであらう、氏の今後は一層に期待されてゐる



この儘去るは 惜しい氣がする
田舍行きは初めて 園田新知事語る

榮轉の報をもたらし園田寬氏を山林部長の官舍に訪ふと何となく家の中が明るいようで取次ぎに出た坊ちやんの顏も晴れ晴れとしてゐる ニコ〲しながら出て來た氏に『御目出たう』といへば『いやまだ何とも公報を受けてゐません』とはいひながら喜びは自ら顏に出てゐる、氏は左の如く語る
田舍落ちは生れて始めてです、ずつと東京の方に住み慣れてゐたからね、本府語だかりしてね、何ですか知事の抱負ならいくらでも話しますが知事の抱負なんて話せませんよ、山林部長としては森林鐵道や砂防工事が明年の豫算に計上され大いにこれから實行に入る所でしたが何だか此のまゝで去るのは實は殘念なやうな氣もします林業を業して居るのは [illegible] だ今後の事業として山のものとも海のものとも判斷されて居らずに之を片付けずに去るとは遺憾のように思ひます、しかし後任に來る渡邊君は山林部の仕事には理解もある人ですから大いに朝鮮の林政のために働いて吳れることでせう、平壤は所ですつてまあ行けば何とかなりませう

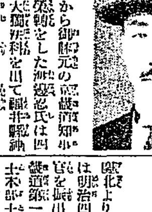
山林部の 基礎を固めた

園田寬氏は明治十六年兵庫縣に生れ、當年取つて四十七歲の働き盛りである四十二年東大法科を出て同年高文を通過し官吏は大藏省專賣局屬が振出しであるそれから拓殖局事務官に轉じ文部省參事官を經て拓殖局 [illegible] 年十月本府事務官兼監察官として來任したその後山林課長、殖產局理財課長となり山林部創設と共に大正十五年六月山林部長には第一代部長として就任し今日に到つてゐる、その間創業時代にあつて山林事業の仕事を着々と片付け殊に朝鮮林政の一通り基礎するにいたつたがこれは主として氏の功績に負ふ所が多い

初めての 朝鮮入り
今村慶北知事

新慶北知事今村正美氏は、はじめての朝鮮入りであるが、[illegible]

同氏は既に休職滋賀縣知事であつたが今回はその才幹を惜しまれて總督總監の新人材主義により朝鮮に復活したるものである氏は明治十七年香川縣に出生明治卅六年明治大學を同卅八年日本大學法科正科を卒業し同年判檢事登用試驗に合格、同四十一年檢事に大阪地方裁判所檢事より大正七年山口地方裁判所に移り次で山口縣學務課長兼學務官を經て富山縣警察部長北海道警察部長を歷任更に福岡縣內務部長から滋賀知事となつたものである、家族は夫人との間に三女一男ある



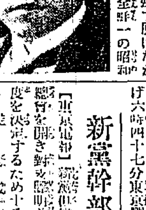
トン〱拍子に お膝元の知事へ
全北から榮轉した 渡邊新京畿道知事

全北知事から御膝元の京畿道知事に異數の榮轉をした渡邊忍氏は四十二年東大獨法科を出て山形縣屬となり神奈川縣の理事官を振出しに官海にのり出し朝鮮には [illegible] 來た人である、慶尙北道內務部長、平南內務部長、京畿道內務部長をへて擢されて全北知事に榮轉した人である、今回の京畿道知事榮轉は全く氏としてはトン〱拍子の榮轉で官吏としては幸運に惠まれた一人である、赴任する各道において知事の評判は上々の人で全北では百姓知事とのニックネームを頂戴したことが出來る氏の自慢の一つはレゲの栽培であつた、太ツぱらの所がありそれだけ小事に拘泥せず大まかのようでもあるが中々くわしい所に氣がつき特に部下を可愛がるから行く先で部下からは非常になつかれてゐる、この百姓知事が京城といふ大都市を有する朝鮮の中央、京畿道に來ることは實に興味のあることで依然として百姓知事で押し通すか都會的に改造されるか、これは氏を京畿道に迎へての振興と共に都市の發展に資するか、これは氏の一つくり御手なみを拜見しなければならぬ新渡邊知事は新潟縣出身で十六年生れの四十七歲である

宇外日報停止解除 其の筋より發行停止の處分を受けた宇外日報は十九日附を以て解除された

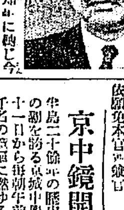
同窓生は 大てい退官
青木氏語る

【平壤特電】やめる青木知事の話
自分の內地に居る同窓生は退官してゐる者が多いが自分は朝鮮に長い事使つて貰つてゐた隨分古くなつてゐるので、いつやめる機になるかも知れないと言ふ覺悟はもつてゐる、しかし今君から聞くのが初耳で、そんな話は聞いた事がないので何とも言へない
と言ひ記者がもし退官せるとせば任官以來卅二年になる昭和水利入りを傳へられてゐるがと問ふと
色々傳へられてゐる樣であるが同水利のためには自分がそれに入るよりは知事をしておつて實てゐるほうが力があると思ふ、今退官になつても覺悟はしてゐるから驚きはしない、辭令を正式に貰はぬので、何も言へない



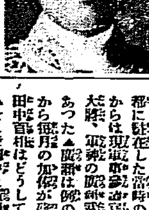
官吏として 最高位まで

平南知事から休職を命ぜられた青木戒三氏は十三年生まれの五十歲秋田縣の産で明治三十八年東大法科を出て同年高文を通過し翌振出しである、それから石川縣事務官となり、四十一年統監府事務官として來鮮したのが朝鮮の始めでそれから農工商部殖產局水產課長同商工課長同農務課長を歷任し大正八年五月鐵道局長に榮轉して勅任となつたそれから本府の庶務部長專賣局長全北知事を經て十五年平南知事に榮轉して今日に到つてゐる 氏は一等一級にまで進み普通の官吏としては行く所まで行つたから氏としても何等思ひ殘す所はなからう、平南在任時代全鮮一の昭和水利組合を殆んど物にし退官したらこれに移るとの噂もあり、全南の夾川氏と共に朝鮮の水利事業に貢獻する所が多からう



お隣りの 慶南へ
須藤素氏

慶北より慶南へ榮轉した須藤素氏は明治四十年東大卒業、本府事務官を振出しに總督府第一部長、鐵道部第一部長等に歷補し、ついで土木部土木課長から營林廠長に榮轉、慶北官となり環境に縦躍してゐたが、六年前慶北知事に轉じ今日に至つたのである



退官した 石鎭衡氏

退官した石鎭衡氏は明治十年生れの五十三歲で、人をそらさぬ調子のよい所があり一般から非常に好感を持つてむかへられてゐる 氏は明治三十五年東京法制大學を卒業し三十七年韓國政府の官吏となり軍部軍法局主事に任命され三十八年に到つて法部法官養成所教官に轉じ京城專修學校教諭及教授たること數年に及び實に氏の官吏生活は教壇が過半を占めてゐるのである 大正二年教職を去つて陸地につき大正七年再び登用されて忠北參與官を振出しに慶南參與官を經て十五年餘で知事に榮轉した人である 全鮮にあつては [illegible] 問題など種々紛糾もあつたが兎に角、これを切拔けて來た所は確に氏の手腕を語るものでしつかりものとして聞こえてゐた人である

侍從長の 後任內奏
一木宮相から

【東京電報】十七日興津に西園寺公を訪問し珍田侍從長の後任につき老公の意見を聽取した一木宮相は十八日朝來牧野內府と相談し侍從次長鈴木貫太郎大將と老公の意向を聽して協議の結果宮相は午後一時五十二分東京驛發興津に伺候、天皇陛下の [illegible] 後任問題につき老公の意見を聽して宮相の所信を內奏申し上げ六時四十七分東京驛着歸京した

新黨幹部會

【東京電報】新黨準備會は十九日 [illegible] を開き幹部會を決定するため十八日午後七時から床次氏邸に幹部會を開き協議するところあつた

接待委員任命

【東京電報】【外務省着電】北京發 政府は芳澤公使の南支派遣に大いに期待し居るらしく [illegible] 氏を接待委員に任命して歡迎の準備中である

大日本大相撲 九日目勝負

勝		負
白岩	(おくりだし)	雞の花
常陸島	(わたしこみ)	古賀の浦
朝光	(つきはなし)	大島
荒熊	(よりたおし)	外ケ濱
武藏山	(おしたおし)	池田川
鏡岩	(よりたおし)	大灸崎
若常陸	(そとかけ)	大蛇山
常陸嶽	(よりたおし)	朝嵐
和歌島	(かけもたれ)	劔岳
新海	(ひきおとし)	寶川
信夫山	(だしなげ)	男女川
吉野山	(うちやり)	玉碇
太郎山	(いなし)	外ケ濱

辭令【東京電報】

依願免本官 京城公立高等女學校長兼教諭 淺井勝

京中鏡開き

半島二十餘年の歷史と柔劍道部の覇を誇る京城中學校では去る十一日から每朝午前六時には一千名の猛兵に燃ゆる若き柔劍道の武者が寒稽古に精神を鍛へてゐるが、同校寒稽古納會と、恒例鏡開きは二十二日正午有田、松隈、佐藤各五段黑帶の師劍士出席のもとに盛大に行ふ

茶話

▲鐵道局海運課長、[illegible] ▲いへば鐵道にないかめしいが▲海軍特務の極めて無邪氣なこだわりのない明るい心の持ち主で茶話子を喜ばせる、十八日 [illegible] 田中省作氏が [illegible] 所での物語り▲田中省作が [illegible] に駐在した當時の合間で海軍から現軍事參議官の加藤寬治大將、軍神廣瀨武夫の三氏であつた▲廣瀨は彼の謹嚴な天分から [illegible] けれど、▲田中省作はどうしても足りない▲そこで田中と廣瀨の間を取持つて安堵をせしむる役目はいつも加藤寬治氏が當たつたものださうな

經濟

海州電に許可
兩電の競願は 十七日附指令を發す

海州電氣會社と黃海電氣會社と共に競願中であつた黃海道延白郡延安面を電氣配給區域に編入するの件は遞信局において同地の電燈その他の事情を調査中であつたが、十七日付で、海州電氣會社に對して許可する事となり指令を發した、同社では延安支店を設置して卅キロの發電所を設け一千灯の點燈をなす計畫である

土改會社 下期代行成績

朝鮮土地改良會社の本年下半期に於ける土地改良代行豫定左の如し
▲代行を委託された分
[illegible]

朝郵業績不振

朝鮮郵船會社の營業成績は十九日で大體終了をつげることになつたが、この際業績を通じてみた同社の經營不振の理由は
一、運賃暴落し運賃收入が極端に減少せること
一、北鮮漁撈荷動き不振
一、支那の動亂日貨排斥により上海航路が極度に不振すること
一、旅客收入の減退すること
一、鮮米の減少により移出米不振

仁川穀物協會總會

仁川穀物協會は十七日午後二時より同會樓上で定時總會を開き昭和三年度下半期の收支計算報告並に役員の總改選を行ふた結果、左の諸氏が當選して全部重任と決定した
▲會長加藤平太郎▲副會長杉野榮八▲評議員辻川吉郎▲同今井義造▲同村上政高▲同三戶守三▲同直野良平▲同中川哲▲同福島雅一

◎株式◎
大株短期引跡

大新	八十五圓六(不變)
東新	百二十八圓九(十錢高)
日產	五十五圓八(十錢安)
鐘新	百五十七圓八(不變)

◎期米◎

大阪期米市況 後場岡米岩田商宛先上田芳賀本村、林興賣り新井、三木、田中買、鹿網、鍋井買ひ四十九錢と二丁安に始まり乘替へ賣りに四十五錢と下押し跡場商內に四十四錢と焦付き四十一錢とダレて大引せり

大阪期米 後場主なる手振は二茂、岩田、上浦、三木、岡先賣りに對し水敏、鹿網、小河、田那、林興買ひは主なるものなり

各地期米後場止
▲下關二八九〇▲桑名十一番二六▲八十二番一七▲名古屋二八六八▲金澤二七〇五▲熊本二七八五▲大阪最終氣配四十錢(一錢安)

鮮內延べ(十七日後場)

釜山米穀市場 [illegible]

大邱米穀市場 [illegible]

群山米穀市場 [illegible]

大阪市中在米高 [illegible]

東京深川在米 [illegible]

仁川大豆本表(單位百石) [illegible]

市況

橫濱生糸後場引 [illegible]

海外砂糖市況 [illegible]

大阪市中外相場へ [illegible]

新乾海苔 [illegible]

鼎表 [illegible]

四年度施政方針に就て

政務總監はこのたび四年度の施政方針を發表し、總督の旨趣を體して調査研究すべきものとして左の八項を掲げた。即ち一、府に決議機關を設置すること一、道の區域[illegible]一、火田民の土着をはかること一、師範教育の[illegible]一、警察[illegible]の事務[illegible]一、内鮮共學一、工業振興の施設[illegible]一、[illegible]設備の[illegible]。いづれもわれ等の常に要望して[illegible]まざりしものならぬはない。各項に[illegible]、熱心にその實行を[illegible]ることを要望するところである。

◇

府に決議機關を設くるはもとより可否の問題ではなく時期の問題であつて、時期が來ればこれを實行するにおいて躊躇すべからざることは[illegible]今なほ[illegible]の時に屬するといふことは明白からず、[illegible]、[illegible]。

◇

次ぎに火田民の土着であるがこれは火田調査[illegible]の結果を見て實行せらるべきものだ。[illegible]内地人の生活安定を期すること、すでに實行せられた[illegible]といひ、また四年度豫算にあらはる[illegible]とも公營質屋といひ公設住宅といひ、[illegible]、一面の思想、ほどこれを[illegible]することが出來るではないか。[illegible]

朝鮮博と各種の大會

殖産局で取纏め中

今秋[illegible]開催する朝鮮博覧會を一層意義あらしむるため各團體では續々大會開催の計畫をたててゐるが殖産局では可及的に早くこの大會開催の計畫を纏め、これに對し[illegible]各團體と各局部に對し[illegible]の[illegible]は[illegible]ることになつた[illegible]

△[illegible]組合聯合大會△金融[illegible]△[illegible]商業會議所[illegible]△[illegible]△赤十字社大會△金物商大會△佛教大會△[illegible]

明年度追加豫算

千五百萬圓程度か

一月上旬迄に省議開催

【東京電話】[illegible]五十六議會に提出する追加豫算はすでにその大體の決定を見たもの[illegible]の追加豫算はこれからでその主なるものは對外[illegible]、[illegible]による[illegible]の[illegible]、[illegible]、[illegible]。[illegible]一千五百萬圓以上に達する見込であるが[illegible]は[illegible]一月上旬までには大藏省議を開く豫定であると

兩切煙草賣行

依然優勢を示す

大藏省專賣局の調査によれば煙草[illegible]は依然として兩切が增加の一途をたどれるに反して口付は減少するのみであるがかくの如き傾向が將來永續するものとすれば[illegible]が、[illegible]月末の[illegible]に於ける[illegible]は十五億一千六百七十二萬一千本に達して[illegible]

京城の將來(一)

都市計畫の觀念に就いて

工學博士　直木倫太郎

今回はからずも御當局より特に御招きを受けまして參つたのであります[illegible]京城の土地は二[illegible]度來た[illegible]なじみの[illegible]であります。

然しながら京城の將來について申し上げまするには[illegible]ことは出來ないのであります。この意味におきまして今回は都市[illegible]に關する[illegible]の[illegible]および[illegible]の都市計畫[illegible]の[illegible]を[illegible]順次に申し述べまして都市計畫の大體の御説明を得まして、如何に[illegible]

この問題は都市の問題の[illegible]であると同時に、明日の都市といふことを各位と共によく[illegible]それに必要なる手段方法……[illegible]。[illegible]その[illegible]の[illegible]を可決されましたやうな[illegible]などそれがなくて出來ないのでありますから[illegible]と京城の將來[illegible]などといふことのお話を進めることが出來ないことを御諒解あらんことを[illegible]のであります。

◇

たゞ今申し上げましたやうにこの都市といふもの[illegible]永久であります。しかのみならず[illegible]一日と發展をしてゆくべきものであります。もし十年に人口が少しも增加しないやうな都市ならばいざ知らず、將來人口の增加を豫想しうる土地ならばそれに應ずるやうにあらかじめ相當なる計畫がなければならないのであります。

[illegible]

この都市の内容は非常に多岐にわたつてゐるのであります。[illegible]

◇

[illegible]

二十一世紀の京城見物(三十)

秋洮生

[illegible]

常識

朝鮮

石炭のはなし………(7)

石炭煉炭の燃燒器

必ずしも高價を要せず

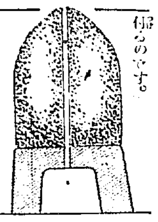
簡單なる製造法を二三紹介する

細粉炭の利用

[illegible]

無煙炭の塔

[illegible]



イ、無煙炭の塔
ロ、中央ニアケタル穴
ハ、土　囮
ニ、焚　口

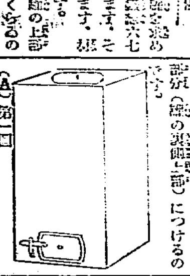
[illegible]

煉炭燃燒器

[illegible]

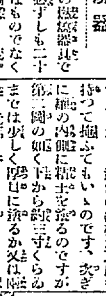
A 石油罐利用の爐

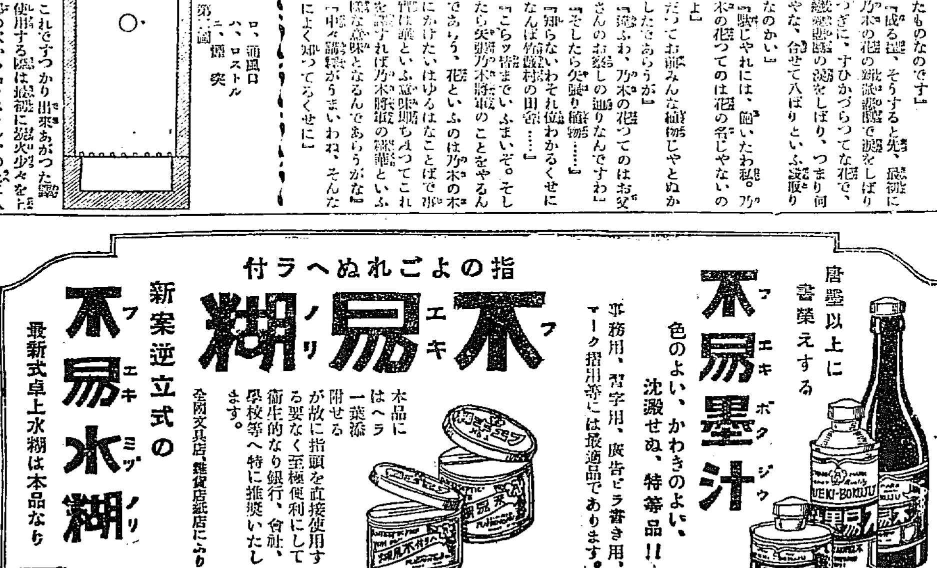
[illegible]



(A) 第一圖
イ、上部穴
ロ、通風口
ハ、ロストル
ニ、煙　突
第二圖

[illegible]





●悪醉　で何時もお苦しみになるお方は及びませぬ荒川ノーシンの御用意さへあれば!!●もし貴方に

資本金壹千五百萬圓
株式會社　十八銀行京城支店
京城府黄金町二丁目　電話本局 一八番 一九〇番 二三五〇番

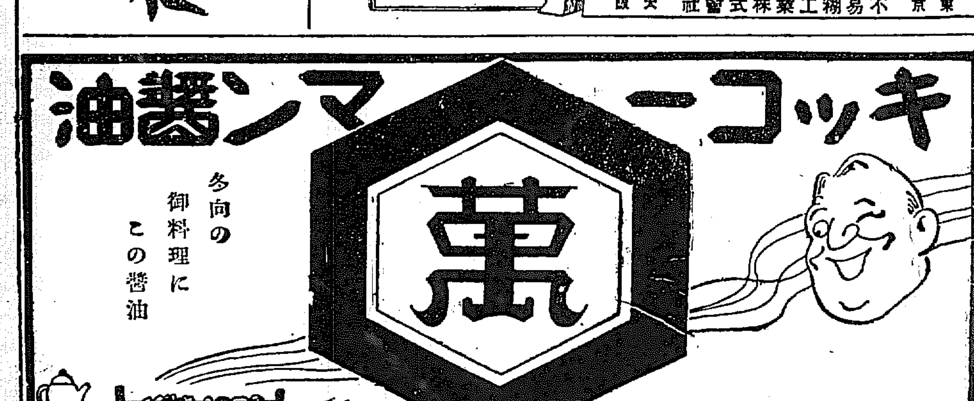
同　新龍山支店
京城府漢江通り十三番地　電話龍山 五五〇番 一八三番

同　龍山支店
京城府元町二丁目　電話龍山 八番

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山支店ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

本邦唯一の精良品
男女防避ゴム
サック
○上等　一打卅八錢　三打一圓　六打一圓七十五錢　十二打御値二圓卅錢
○特製　一打五十五錢　三打一圓四十錢　六打二圓六十五錢　十二打御値五圓
○特上　一打七十五錢　三打二圓十錢　六打四圓十二打御値七圓五十錢
○別誂　一打一圓　三打二圓六十錢　六打五圓　十二打御値九圓五十錢
○細菜別選　一打一圓卅錢　三打三圓五十錢
○羽二重　一打九十錢　三打二圓四十錢　六打四圓卅錢　十二打御値八圓
○女用　一個七十錢　五個一圓卅錢　一打二圓
○鐵兜　半打一圓十錢　一打二圓
目立ぬ樣個人名儀で密送す他品と比較乞ふ○密送料十二錢郵券五分増
東京銀座新肴町八　振替東京七貳貳　丁子堂
大阪支店　西區新町通一丁目二　電話新町四五七番振替大阪五六番

皮膚泌尿花柳病
醫學博士　渡邊晋
京城黄金町入口　日本生命裏
診察　十二時半マデ及ビ夕刻



帶方の遺蹟(二)

海州　白井源平

『かゝる處』に安盛鐵波校長は余等の身を案じて出迎へてくれられた。大きな迷ひ兒の二人は救はれてやがて校長宅の客となつた。一浴して一切の塵埃を洗ひ流し隔離の搾取にくるまつて、床柱を後に納まつた二人の大隅は河北館、山津くさん〳〵鐵波江の鮮魚に特に校長が心して沙里院から取寄せられた白鷺の盃を擧げて頻に有難に入つた。間もなく明日再勝の勞を執つて下さるはずの金融組合理事が見えられ[illegible]校長のいはく

何といつても鐵波の町ですね、あの邊ですね、水晶をとかした樣な鐵波江に帆を浮かべて一網バサリ、あるひは江畔の樹蔭に糸を垂れて大きなカムルチー、鯉、なまず、鰻などを漁する樂み、あのカムルチーの刺身を味はないではすまないですなとおつしやる。二人の大隅が忽ち大猫になる。金融組合のいはく

鐵波は水の美なるによつてその名を得たと思はれる。荒木けむる姿よ。緑の深い姿よ。彼はいつかわれ等を聞つてこのながれをさかのぼらしめる。山頂水復路なきかと疑ふ、聊暗花明又一村といふ勝子で桃源里といふ仙境に至る。そこに好箇家の遺跡がある。今は昔の樂王の陣をこゝに駐め悠然として酔るを忘れ離宮を營まんとしたといふ、選賦の風景を餘せずしてほしいまゝに縦談を論ずるなかれと來て、いやに二人の遊情をそゝつたものだ。

御馳走になつたからいふのではないが安盛校長は個雅にして篤に厚く人格高潔、當今稀に見る教育家で地方人が神の如く崇敬してゐるといふのも偶然ではない。土地の人で先年令閥を失はれ淋しい獨身生活を續け一人の孤兒に奉愛の眼りを獻されて居る。鐵君は郡心な實業家で郡誌に通なことは内地人と選ばれ、元氣と親切を以て吾人旅行の案内となり拇の貫入その他には校長とともに多大の盡力を賜はつた。

明くれば二十[二]日朝まだき私を踏んで鐵波の町を見物する。地方の割に人の多いことを鐵波の市の繁だといふ。その證處は存名なものでそれだけ戰禍の大中心で人口も相當にあり、家屋も海州などに比して大きくかつがつしり作られてゐる。大きな醸酒場がある。金融組合、郵便所、派出所などがある。隣つて旅館をとゝのへ、金君を先頭に立てゝ協の南土城地に向ふ。安盛校長が町はづれまで見送られる。鐵波を出て奈離（奈離）の古城址を訪ねる一巷しかない古城で面影なども殆ど破壊されかけはらの民家に保存されてゐるが、瓦塵は散逸して跡形もない。今昔岩方の立つてゐる處がその位置だなどいつて教へてくれた。附近の水道が絶になるので一枚スケツチする。

一丈にも有る高梁の稈たばが池々たる平野のそこゝに塔状によせ立てられてゐる。假稈とし て高價に賣るといふそば畑がその間に展げし收穫期になつて居る。この平野の間を北迴すると瑞興江の分流に至る。市十二三間位であるが變形状をなした底なしの泥川で遣入つたら脱出容易に出られない。鐵波江や瑞興江は深い處もあるが淺瀬が多く殆ど徒渉し得て水は清く急流の方であるがこの川はおだやかでやゝにごつた流れでカムルチーをはじめ鯉、鱒、鰻などの絶好な天然養殖場とつて居る千七百餘年も昔の帶方郡時代にどんな分流があつたか、どうかは判らぬが若しあつたとすれば恐しい好箇の防禦を得たるなどは明らかである。

この分流を渡し船で越え興瑞里の邑落を廻ぎり高梁畑や稗粟の間を通んで瑞興江の假橋を渡り雜林から北東を指さして土城内洞に着いた。鐵波から約一里二十六町歩程ある。土城址は北東の一角だけ殘存し東西約一町半、南北約二町位、殆ど二間半位の土墻である。步道は雜草のためよく判らないが狭い處は一から二間に及んでゐる。上にポプラをはじめ色々の雜樹が茂り今や二町の道にあつて落葉をみなぎらしたやうにふみ散つて居る。殘礎はなか〳〵見出しにくいが各種の磚瓦や五銖錢を出してゐるつては錢幣や五銖錢を出してゐる東門の趾もげん存し余城の隆盛は大略判つて居るはかつては見ないがおよそ四町四方位である。この古城は後世の修築もなく變化したまゝに保存されて居ると思はれ漸く吾人を滿足せしめた

公州の　かるた大會

支局後援で　二十日開催

公州將棋多同好者によつて組織されてゐる團體では本社公州支局の後援で二十日午前十一時から本町特設會場においてかるた大會を開催することゝなつた殿堂以來市内各所では猛烈な練習に白熱化しているので多數同好者の參加を見るべく盛に賞品は本社メダルの外

女學校の　寄宿舍出火

鳥致院吉野町公立女學校の假寄宿舍から十七日午後四時三十分出火したが消防ポンプ出動して約三十分で消火した一時は非常な騒ぎであつた原因はコタツの不仕末からで損害約二千圓の見込みである（鳥致院）

執行委員の盗み

鳥致院青年執行委員長に補さる會長と稱する金某は去る十五日夫の市中から急行列車で歸宅の途中二等室に侵入し乘客のすきを伺ひ毛布二枚を竊取し鳥致院に下車歸宅の途中巡査の鳥致院警察に誰何され逃走せるも逮捕されたが同人は終日集會し酒後等を彷徨中である（鳥致院）

忠淸北道

忠北線　延長陳情

期成會有志　當局を訪問

既報の通り忠北線（忠州堤川間）延長期成同盟會ではさる十一日堤川公會堂において總會を開催し同地および隣接郡より多數の參會者あり同地未曾有の盛況を呈した規約の制定、役員の選舉を行ひ結果左記の通り役員の當選を見た

會長　井上勇吉
副會長　近藤守藏
同　李觀榮
顧問　金重鉉
同　林茂

その他評議員數名を擧げた、なほ期成委員として近藤守藏（堤川）、李鼎信（同）、權泰燮（同）、張聖基（忠州）の五氏を擧げ同氏らは十五日堤川を發し忠北道廳當局に陳情し朝鮮總督府鐵道局を訪ひ更に同月上城し遞信に陳情するはずである（清州）

學校組合議　員增加

咸興市内の内地人戸口は別項の如く千五百十一戸、五千八百三人に達しているが咸興學校組合區域たる南北東面、州西面、州北面等の一部を加ふれば約百戸、五百人を增し千六百戸、六千三百余人に達し學校組合規程から見ても組合議員數は十二名となるので來たる三月の改選期には現在より二名を增して十二名の新定員とすべく準備中である。なほ組合有權者數も前回の總選舉當時の八百四十余名に比して百六十名を增加しまさに千名を突破する見込である（咸興）

慶尚北道

土木談合事件　公判は四月下旬

一件書類二万余頁　豫審終結に近づく

大邱土木談合事件は既報の如く大邱地方法院における豫審もすでに終結に近づき一月末か二月上旬には決定を見るべく然して公判は四月下旬か五月上旬に開かれるであらうとみられてゐる何しろ被告總數、五十七名におよび起訴へ以て豫審調書類の一件記録は二萬余ページもありこれに一通り目を通すだけでも容易ではなく大邱地方法院でも本問題については慎重考慮を拂ひ公判の準備についてもたが係裁判長には金川部長、陪席判事に今泉、小川兩判事が當たることに決定を見たなほ公判廷は現在の庭内三十人を收容する第一號法廷があるも被告五十七名に辯護士、新聞記者等約三十名あり問題が問題だけに傍聽者の家族友人それに一般傍聽者も相當數に上る見込みで法廷内には少くても二百名以上を收容する公判廷が必要である所とて收容しきれないものでは到底間に合はぬから大正九年の土木事件の時の例を應用し臨時にバラックの公判廷を作るといふ説もあるが經費の關係と場所がない關係からこの方は不可能とし結局傍聽者を制限する外なく關係者の外は傍聽出來ない事になるであらう（大邱）

苹果の視察　報告

慶北果物同業組合では過般慶北組合長大塚氏組合技手中井氏組合員山田氏道より技手曾我氏らが内地におけるリンゴの本場たる青森縣、長野、北海道等を視察して其土産話を十七日慶北組合員一同と合して報告した。大塚氏組合長は同縣の販路は土地の購入と觀光等を見聞し果樹園約六百町歩を有し十年後には四百五十町歩十年末満百五十町歩で販路では日下の反別八千町歩以上にして種類六六萬箱にて組合がみやげ物として求めるが大部分らしい種類は主に大和錦、紅玉、國光、ゴールデン等にて反當り約百五十貫十七八年生位にて一反步百五十圓位の収穫する果樹もある、北海道において最も相場は一箱三圓位である北海道の相場は仝一、山田村、平崎、平塚など有名なれ共栽培の部落的事業であつて反別も二千町歩内外である話は極めて興味なれども一々諸般の報告があると語つた、中井、山田兩氏も略同様の報告であつた（大邱）

合同銀行　株主總會

紛糾を豫想さる

慶北合同銀行は來る三十日第一期定時總會を同銀行樓上において開催し營業報告、財産目錄、損益計算書の承認の件、利益金處分案、を附議したるのち更に臨時總會に移り取締役一名改任の件、取締役一名補缺選舉の件、代表取締役選舉の件、監事の選舉の件を討議するはずであるが同銀行は合同當時から役員間に深刻な暗闘があり、つかは一波瀾を起こすものと見なされてゐたのが遂に今回の總會にその内訌を暴露するに至つたものである、關係者の言ふ處によれば取締役間の確執により役員の地位を余儀なくされるの

浦項無盡總會

浦項無盡では十六日午後一時より同社事務所において第一期定時株主總會を開催した當期純利益金は四千四百三十六圓七十四錢でこれを左の通り分配する事に決定した▲法定積立金五百圓▲缺損補填準備金五百圓▲役員賞與金二百四圓▲株主配當金七百八十圓（年九分五厘）▲後期繰越金二千十二圓七十四錢

平安北道

犬殺し

去る十四日義州郡義州面内面生れ當時住所不定無職張永俊（二〇）は十四日義州郡昌町の某所で犬を盗み解體してゐるところを刑事に取押へられたが取調べの結果昨年中に府内の犬三十頭余を殺し皮を賣つてゐたことを自白した（新義州）

葬式の馳走に中毒　四名死亡す

平北楚山郡北面新洞龍湖洞金之龍は去る六日朝親戚の葬式に出て御馳走の鶏肉を食べた一同が吐瀉したので大騒ぎとなり十日までに四名の死亡者さへ出したので當局は公醫を派遣しその原因を取調べたが中毒を受けたものは四十一人で今なほ重症のもの四人あり多分鶏肉の臼に出した酒と牛肉に原因してゐると見られてゐる吐瀉物は道衛生課で試驗中である（新義州）

平安南道

平安水利の　妨訴審控訴公判

原告側から瓦地方課長　第一審判決の棄却を要求

平壌の城ノ崎虎之助氏が平安南道の三同水利の水野兩組合長を代理とし平安水利組合を相手取つて提起の防水池の築造並びに防水池下の砂防施設の堤防の撤去を求めた訴訟の件でこれを許容しないやうにといふ訴訟に對する組合から控訴の訴訟ら控訴公判は十六日午前十一時から平壌覆審法院民事部法廷で三浦裁判長、松田、宮田兩陪席、和田、酒井判事、原告側大谷瓦平安南道地方課長、被告城ノ崎氏代理三浦辯護士、水野組合長出廷して瓦地方課長は

第一審判決は水利組合の堤防を築造する行爲は非行行爲であつて取り消して貰ひたいと控訴理由を述べ瓦地方課長は

第一審判決は水利組合の堤防を築造する行爲は非行行爲であつて取り消して貰ひたいと控訴理由を述べ行政處分に非ず具私人間の關係を主張するに對し、堤防は公益のものであるから民法の規定により提訴とは取消すべく、その理由は取消處分の適法の非行行爲も却つて民法の規定によるものではなくて行政處分の途中に包含せらるべきものである堤防築設、水路の變更の如きは行政的行爲も亦行政處分なりとしてゐる判例があるから民事裁判所に提起したことは本件と相關係なき行政處分と謂ふ（[illegible]）

森林保護成　續順位

平安南道では天然の記念の郡内の國有林に力を入れ保林における森林保護が最も必要であるとなし郡保林組合および各面に森林保護組合を設けこれが保護に努め私有林保護取締期限の實を擧げ行ふ方針であるが悲して同の程度に行はれてゐるかを見るべく道當局では過般係官を派遣して各郡に分ち各面にわたり調査を行ひその成績を判定し各郡の經過、無林の有無等によつて組合の成績を判定した結果順位を定め第一區、孟山、陽德、成川、寧遠、第二區、价川、寧遠、安州、順川、第三區、中和、大同、江東、順安各郡の順位に決定し一等以下それ〳〵表彰に賞金を授與さるはずなほ同調査は明年も行はるゝ由（平壌）

人夫の喧嘩

平安南道沙里院土木出張所の平安南道安岡郡新多里東新里採石場における採石人夫と地元民との間にはかねて面白くない感情を抱きあつてゐた處去る十日午後十時頃たま〳〵採石場人夫同面李根道（二五）同金錫淵（三七）の兩名が同面人夫孔姓から金五十錢を借りて賭博に夢中になつてゐたのを孔が金錢を返済してくれぬことから同里同人夫孔姓の妻にふき聞つた後から同本人の孔姓（二七）が手に鐵棒を握つて毆打して撲ちまはり、そのまゝ現場にそのまゝあげ直ちに金錢の債務に關る口論をしてゐるのを傍らで四十名の部落民が同情にそつた痛る同様の同本に同里同石人夫の本業とし、一方で李根道の方は兩名でその人の一方は足の指をはじめ同じ人が合從して、大群の兩人は叉は本業、右の件で重なる鑛山三人の叉も重傷の罪により雨件の叉は重傷を負ひ叉夫と同人から呼び出されて毆打された有力者の仲裁で間もなく和解

晉州師範　廢校善後策

市民有志の　對策攻究

官立晉州師範學校の廢止に伴ひ、同校校舍を利用せる慶南道立晉州師範校舍に充當せる目算の在つて當局の運動に立ちいたるものとし晉州市民有志約三十名は十五日午後三時晉州劇場内に集合してその對策を攻究したが師範廢止の根本問題に論及する者あり、官立師範の設立を主張する者、中學校設立を要望する者、又は中學校の高等普通學校および農業校舍增加を要求する者等あり、遂に議論紛糾した有様であつたが、結局具體的運動の手段方法に就いて、左の委員十三名により研究する事となつた

細民地區を設定

三百戸の住宅建設　候補地は谷町の高地

釜山府では細民地區設定のため釜山府ではかねて實施方法について調査中であつたがこの程漸く成案を得たので近々本府に細民地區設定のため代替地方の中央をする條規である内容は概算三萬圓を計上しこの内一萬三千坪にて約二萬五千圓で一萬坪を買收し約二萬五千坪の土地を準備して細民の三百戸の住宅を建設し財源的には大いに民衆に見込んである千四百戸以外の者は概算的に無料で細民がこゝに自ら作興する計畫である、なほ家屋の建設に近くて有力する事もある近きに着手する方針で第一候補地は谷町地區であると（釜山）

不正漁業者　檢擧

久しく屏息してゐた不正漁業者は最近寒氣の到來につれまた〳〵頭をもたげはじめた漁場開放と共に鱈漁業の盛期にはいつたので今日捕業によりこの漁期を害したため釜山水上署の黒田部長にさんがより去る十三日午後二時頃捕に向ひ十六日朝歸港したが三日間熊本縣の漁船を拘引した漁船船主渡邊啓司ほか四名を檢擧し何れも罰金を課した處左の漁船船主渡邊萬次郎ほか四名が課された不正漁業者は未だに多數の不正漁業者が出没するもの如くで近く再び取締するやも知れず

鎮海群島の不正漁業を取締中同隊は金三百圓を課して歸港した。

小...

（釜山）

馬山の　土地問題

朝鮮人側代表道廳訪問

馬山府の土地處分問題と府民代表として朝鮮人側代表として昨年來問題の件に關し代表者として慶南道廳へ陳情した原告は十七日正午から慶南道廳に水山知事が來訪し種々陳述して懇談した府が理由とするところは昭和二年五月馬山の中央部に所在する舊道用地一萬八千坪の府地造成の目的のもとに三萬七千圓を起債して拂下げたるを二

合財袋

◇……生金一升四合五勺、總價格二十五萬三千圓、前年に比し本年百五萬四千本、收益二千八百七十二名、價格約八萬圓を何れも增加してゐる

◇……現在の平壌興銀本數は五百四萬七千五本内鎭賀本數五十五萬本、昨年の生産高七千九百九十八名四斗八升、一本からの

◇……十七日午前一時平壌府壽町三十一番地へ先の道路を一頭の豚が迷ひ路面にいてゐるのを同番地北沢友之金池（三〇）が發見した拾得物として届出た

◇……安南道から無煙炭、硫炭、砂鐵、セメント、平壌栗、平南米、穀物、スレート加工品、水產

◇……平壌商工會議所定期評議員會は來る十一日開催昭和四年度豫算及び同經費賦課徵收方法の件を附議する

◇……平壌府八千代町金某方勞働者揚鳳基（三〇）外三名は去る十五日無許可で大同江の氷を採取し清涼飲料水及氷の販賣を取締規則違反として平壌署で科料十圓に處せられた

◇……平壌電氣料及水道料値下げ問題に關した莊仁太郎、森岡二三、森田十藏、桑谷寶の諸氏は在平壌新聞各社の諒解を得べく十日午後二時から料亭八千代で新聞記者を招待した

◇……本籍平南道鳳山郡鳳面銀波里當時住所不定無職池龍一（二〇）の十二月から去る二日までの間に平壌府内で〳〵窃盗二十一件を働き平壌署へ檢擧された

晉山金組創立總會

晉州郡美川、斗洞、安豐、大谷の四面を區域として新たに設立認可せられた晉山金融組合は十六日午後一時から面事務所において財務部長代理井上理事財務長外多數の來賓臨席し、評議員選舉、總會參加入の件等を無事可決した（晉州）

全羅北道

金堤消防組　出初式

金堤消防組は十五日午前八時三十分金堤警察署において昭和四年度出初式を舉行し午前十一時より約一部、第二部共に町廻りを行ひ午後二時まで終了し午後三時より金堤座において慰勞宴をはり散會した、なほ同夜金堤座に於中劇團が慈善興行を催し消防手の勞を慰めた（金堤）

群山から

◇群山府内には幾多米商の集まりがあるは群山府の特徴であり昨年末の不況に先立ち多く移民救済として、都市は千五百餘の細民の觀察を行ひ、府から貧民救濟の費用を貰ひ移民施療の所に事に施してゐるまでの何でも群山で……一日一食と云ふ悲慘な狀態であるので何とかならないものでせうかア、他はお金を貸さないと言ひまして。

◇群府の上水道は冬期でも夜間斷水を繼續して居るが料金の徴收額は全部第一の事を示してゐる。府の昭和四年度豫算は目下編成中であるが、これが府の中位である議會に歸りてるから云ふ懸念があつて居る、而して其の使用料は十二回の府協議會が早くも一般府民は議員に注目してゐることらの數々の問題を見物にしやうと云ふのでもあらうしい。

忠淸南道

移出米增加

忠南道では昨年中、南部の米の移出實績に付き去る一月末まで同米の發送が一五、五四三叺、内地の五七、一叺を西北鮮に經由鮮外十三ヶ所の産米が宇治並にて昨年同期の七一叺を品種別發送も從來の總量では四九九五六の叺にかけて五五十四、叺である米價は十四三一叺である、（[illegible]）

北滿在住の　朝鮮人壓迫

支那官憲の暴狀

滿洲

北滿地方における支那官憲の朝鮮人壓迫は最近はしば〳〵朝鮮人の問題となり支那官側は、わが領事館との間に問題となり支那側は、朝鮮人の運用に努めしばしば支那側は事情を調べてはり聞かざる者の朝鮮人はあらゆる壓迫を加へて去る十三日もハルビン埠頭區居住の朝鮮人宅に支那警察十數名が押入り家宅捜査に名をかり婦女八ケ月の婦人張氏を毆打しこれがために張氏は死産の重傷を負ひ同夜日本病院に昇き込まれ目下治療中である、この支那官憲の暴狀に憤慨したハルビン居住二千の朝鮮人は十五日午後一時から蔡館小學校において朝鮮人市民大會を開催し支那官憲の暴狀を糾彈せんとしたが化を懸念して日本當局の指示により在哈二千の朝鮮人の支那官憲に對する暴狀を中止せしめた、十五日には、支那官憲の暴狀を訴へたがしたがこれを北滿在住の朝鮮人有志

差等税　實施布告

十六日發表

安東海關では既報の通りいよ〳〵來たる二月一日より新關税率によるを差等税實施の旨十六日付英支兩文を以つて發表したがその布告文は左記の通りである

今般本海關税務司より財政部關務署の訓令により國民政府の公布せる新關新輸入税率を本監督公署も東三省保安總司令部の訓令に接せて之を公布す

中華民國十八年一月十六日

海關監督公署　米春霖

安東海關税務司　福本順三郎

これについて在安邦人商人間においては漸て日支間の關税協定好轉しつゝあつたので大した衝動も感じてをらぬ様子である（安東縣）

咸鏡北道

清津の無電　天馬山に決定す

解氷を待つて着工

清津無線電信局の新築工事は解氷期をまつて着工することとなつた同局の位置については一時清津驛の附近の砂丘地が豫定されてゐたが其後種々の關係から天馬山が最もよいとのことになり第一候補地たる天馬山が最も適當とのことになりさきに同局の敷地も決定して死亡してゐた（清津）

鐵道工事十砂運搬作業中土砂崩壊の下敷となり附近の者数名が救助に努めたるも窒息して死亡してゐた（雄基）

木材拂下と　監督移管

四元營林本府に陳情

清津營林署では從來の營林監督を本府當局に陳情要望することとなり四元營林署長が上府したが營林署出張所の監督移管といふのは豆滿江地方の營林事務が營林署その他二十數ヶ所によつて行はれて居るがその管轄が官制關係に屬して居る管轄

支那人夫傷死

支那鐵道水源地の支那人夫は十日午後四時工事中に

黃海道

沙里院電氣　面債諮問

面協議會で　申請可決

沙里院市民の輿論である電氣經營を總督府に提出し補助金五萬圓の起債を試みんとする面債認可申請案が出來あがつたといふので面では十六日午前十一時から面協議會を招集して諮問會を開いたが元來議員側でも何等確乎たる腹案があるのではなく樂あたり鬪爭の對策としては、そうするより外に途がない所から無論可否の議論が出ようはずなく滿場一致これに決定した、因に電氣協議會あたりではこの日の會合を余程重大視したものと見へ問題を申込で佛の評議員連中が押しかけて押かけたものだが面協會は秘密會とあつて他人の傍聽をゆるさなかつた。皆ぶん〳〵して退席したるは寧ろ氣の毒の光景であつた（沙里院）

海州尙武會　の實現

海州には從來海州武術獎勵會なるものがあつて官民の希望者は之を參加することが出來たが今回新たに官民有力者により海州尙武會なるものが組織され本會の經費の一部をうるため十九日二十日の兩日間海州劇場で柔術な酬劇會を開

催することゝなり海州には從來武術獎勵會があるのに今回突然民間の一部の人々や海州尙武會が出來たので尙武會の向ふを張るものだといふ人もあるが聞く處によれば尙武會なるものは主に民間側の人々によ り青年の武術を振興し思想善導といふ見地から組織したもので武術とは成立の趣旨目的が違ふそうで敢て勢力を爭ふ様なものでないと（海州）

基本財産寄附

堀川の地主にして慈善家である堀川中藏氏は本年還暦を迎へたので自祝の意味をもつて今回、堀川面吉若里所在の番七〇四坪を同地の若松鄕校へ、同面寅川里所在の番六八五坪を同地學校組合へ何れも基本財産中に寄附した（海州）

下水溝問題　協議

沙里院では十六日午後市街地整理委員を集めて四年度に施行せんとする下水溝問題に關し協議する所あり結局西里米市場通り約二百六十間の部分を施工することとしたがその所要經費は約一萬圓

武道獎勵會寒稽古

沙里院武道獎勵會では例年の通り十六日から二十九日まで海州武德殿で寒稽古を始めた入會希望者は最少まで申出づれば直に入會が出來る（海州）

京畿道

仁川雜組

◇仁川商業會議所では十九日午後四時から役員會を開き昭和四年度豫算を附議することになつたが總額二萬一千三百卅六圓三年度に比し千八百九十圓の增加であるが右は本年九月の議員改選期に於ける選舉費及び朝鮮博覽會開催に伴ふ諸經費の支出による止むを得ざるものである

◇過般來仁川港協會より解雇者に對し勞務の改善について要望したる件に關し港運協會では十七日午後七時より港町井運送店樓上に於て之が報告會を開催し增井中條川井田、森本の各委員より詳細その經過を報告し、尙將來の活動に關する計畫について協議し最後に新年の選舉を行つたが左記五氏當選した

增井茂吉、川井田與三郎、森本聯吉、中條榮藏

◇仁川府廳内の各係員配置替へについては過般來寺島府尹が鋭意考究中の處十七日愈よ之が發表を見、寺島府尹は會議室に全職員を召集して一時間半に亘り事務の取扱について訓示をなしたが、配置異動したものは内事三名、財務三名、庶務二名で福村氏外四名の水道徴收係を置き水道料金の整理に當ることになつた

地方集會

◇佐賀縣人新年宴　仁川在住佐賀縣人會では十六日午後六時より吉野町平井亭に於て新年宴を催した（統營）

◇張新大郎慶賀會　大邱銀行頭取張吉相氏は十八日午後六時より東雲閣に於て在邱新聞通信記者の主なる人々を招待し晩餐會を催した（大邱）

◇統營座敷組合新年宴　統營座敷組合は十三日午後七時から花月樓で新年宴を催した（統營）

◇料理屋組合新年宴　大邱料理屋組合では十六日役員改選を兼ね新年宴會を料亭明石樓で開き組合長に永井家次郎氏、副組合長に木村文吉氏を選舉し盛會裡に十時頃散會した（大邱）

◇山中全北警察部長招宴　全北消防組頭山中貞保氏は先般全國消防組の視閱式に參列の爲め出張中であつたが今回歸浦したが十六日午後五時から料亭松葉に官民有志新聞記者を招待し盛大な自祝宴を張つた（浦項）

◇松下部長新年宴　松下全南警察部長は十六日午後六時より在光新聞記者を招待して寒の家に招待し新年宴會を開催した（光州）

◇警察會懇親會　平壌警察會では廿日午後六時から新聞記者を櫻町大學亭に招待し懇親宴を張る（平壌）

地方人事

▲大池源二氏（釜山實業家）十六日夜內地より歸來

▲神谷小一氏（全北財務部長）歸省中の處十七日朝山延陽町着任

▲池國順雄氏（釜山商圖）十七日朝歸來

▲山木新藏氏（全北郵便局長）十七日歸任

▲杉木杵太郎氏（京城支局長）十七日京都へ

▲原野木健松氏（釜山支局長）十七日頃漢城へ

▲多田金南光氏（光州警察署長）十七日内地へ

▲松下芳三郎氏（全南警察部長）水浦務課の爲め十六日來木浦

▲田中乾一氏（道警部）同上

▲長田武男氏（道警部）同上

▲藤井一三氏（珍島署長）十五日來木浦へ

▲稲本二市氏（全州辯護士）十五日來木ホテルへ

▲村本員一氏（米穀檢査所長）十五日夕光州へ

▲吉田電興事務（前任地理務整理のため十六日ハルビンへ）廿五日歸任の筈

▲野田七郎氏（隊長）國境方面へ出張中の處十七日歸任

▲三浦、慶尚北道知事　十七日歸廳

▲谷北知事　十六日夜行で出府

▲加藤鏡治郎氏（新義州商議會頭）十七日夜行で東上

▲森脇英士氏（平北警務課長）十六日往復二十日の豫定で内地へ出張

▲吉田秀次郎氏（朝郵專務取締役）廿二日頃東上

咸鏡南道

咸興の　戸口數

六九九一戸　三二〇三八

昨年末咸興警察の戸口調査によれば咸興現在人口は

▲内地人一、五一一戸男二、七八八人女三、〇一五人計五、八〇三人▲朝鮮人五、三九〇戸男一三、五六三人女一三、六七七人計二七、二四〇人▲外國人二〇人▲合計六、九九一戸男一六、三六一人女一五、六七七人計三二、〇三八人

でこれを十年前の大正八年末に比し

（ミツワ家庭欄四ー一）

靴の中に住んで居たおばあさんのお話（上）

學校からの歸りに田舍道を歩いて來ると、夏の午後の太陽で、高い樹の影が長く地にうつつて居ました。

私は少し疲れたので、路傍の草の上に腰をおろして、家へ歸るとちやんと私を待つて居てくれるおいしいお菓子の事を考へ初めました。此の日は私の九つの誕生日で、從兄弟が二人來て、晩には一所に遊ぶことになつて居ました。

その時ふと、宿題のことを思ひ出しました。八の段の九々の表をおぼえなければなりません。ところが、お家へ歸るともうおさらひの時間がありません。だから明日の朝一時間半早く起きなければなりません。——私の嫌な朝起きです。私は眉の間へ皺をよせました。その時うまい考がふいと飛び出して來ました。『此の田舍道の靜かな所で、宿題をやらう』と考へついたんです。

鞄から鉛筆と紙をとり出して、九々の表を書き下しました。いつもやる様に口の中で繰り返しながら、一生懸命にやつて居ましたので、足音が聞えませんでした。直ぐ傍で物を云ふ聲にびつくりしました『おや、何をしてるの？』と云ふ聲でした。

見上げると、顔色のきたない着物を着た小さいおぢいさんが、笑ひながら見おろして居ました。

おぢいさんは心安さうに見えましたから、私も笑顏をかへして云ひました『いゝえ、九々の表をやつてるんですよ。』

『急度七の段の九々だね！』小さいおぢいさんは瞬きしながら云ひました。

『七の段の九々なら知つてるんですよ』少し自慢さうに云ひました『今八の段のをやつてるんです。』

『ぢや、お話をしてる暇はないんだね』おぢいさんは、私と並んできたない草の上に腰をおろしてきました。

私は誕生日の會のことを話しました。おぢいさんは、うなづいて『あゝ、さうだらうとも、だけど私も手傳が出來さうだよ、九々の事ならかなり知つてるからねっ』と云ひました。

『そりやうまいなあ！』と叫んで呼びました。

おぢいさんは續けて云ひました。

『私は九々が好きだからね、なあに、すぐ敎へてあげるよ、さあ表を取つて聞いてお出で。』

それから妙な課業が始まりました。おぢいさんがどんな事を云つたか、どんな風に云つたか、思ひ出し度いが、もう殆ど忘れてしまひました。只僅かな間に、恐ろしい八の段の九々が私の頭に長々と刻みこまれたのです。おぢいさんは種々な謎で、引つかゝらせやうとしましたが、うまく切り拔けましたので、餘程高く笑つて手を打ちました。『えらい！　さあ、紙と鉛筆をしまひなさい、話をして上げやう。もうすこし此處に居て話を聽く氣なら。』輝く眼の細から、私を見ながら云ひました。

『えゝ、どうぞ、また澤山時間がありますから、どうぞ聞かせて下さい。』

細けた膝を細そりした指で抱いて、皺のよつた顔に妙な笑を浮べて云ひました。『靴の中に住んで居るおばあさんのことを聞いたことがあるかね。』

私はうなづきました。

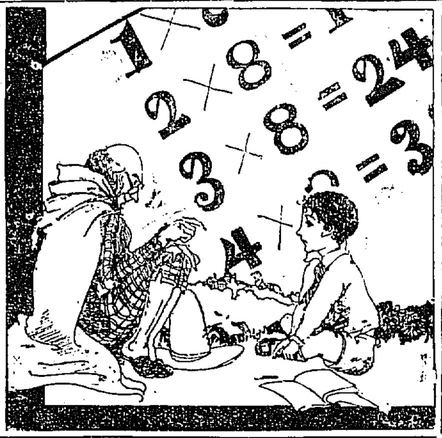
おぢいさんは續けました。『さうその父々のおばあさんが、私の祖母さんだよ。』

私は驚いて小さい息をついて、眼を開いておぢいさんを見ました。が私が何も云はないで居ると、話が續けました。

『ボンツウフのかみさんと云ふ名だつたよ。子供が十七人あつて一番上が十五歳、一番小さいのが二つ半だから、十七人の中に二子が五つ組あつた譯だね、みんなで、男が九人、女の兒が八人だつた。

そこでボンツウフのかみさんは實際は、君も能度考へて居るなら、そんな、あたりまへの靴の中に住んで居たんぢやない。靴と同じ様なもの〻中に居たんだよ。此の人の夫は、靴直しだつたんだね、お金がうんとたまると、自分とおかみさんと、大勢の子供達の爲に家を建てやうと腹をきめたんだ。自分は靴直しが好きでたまらなかつた。お金もそれで出來たんだから、大きな靴の形の家を建てたんだ。雨樋と踵のところに窓をつけて、爪先に臺所を造り、口の上にきれいな赤い屋根をつけた。これがほんとの靴に見える様に、前の方へ紐をちやんと描いたんだ。

ところが、氣の毒にも、此の不思議な家に住みこむと、職員しはおこりにかゝつて、死んでしまつた。ボンツウフのかみさんは一人で此の大勢の子供を世話して行かなければならなくなつたんだよ。』



一月のこよみ		
日曜	六日　十三日　二十日　二十七日	
四方拜	一日	（火曜）
元始祭	三日	（木曜）
新年宴會	五日	（土曜）
小寒	六日より	（日曜）
大寒	二十日より	（日曜）

○お正月　お正月　お正月○

お待ちになつたお正月です。お正月には、新しいきれいな着物が着たいなぞと云つて、泣いたりねたりしてお父さんやお母さんを困らせる方もある様です。皆様にはそんなことはないでせう。お正月は、年が新しくなるので昨日まで着て居た着物が垢がついたり、汚れたりして居りましたら、垢の着かない様にお手入をして頂いた着物に着換へれば宜しいのです。から、泣いたりすねたりして居る方に敎へてお上げなさいまし。外へ出る時さう云ふ汚れない着物を着て出て、歸つて來ておしまひになる時、その袂へミツワ石鹸を入れておしまひになりますと、此の寒い間にも、中々なくならない着物を食べる虫が、きらつて此の着物には着きません。虫がつかず、かびも防ぎます。それで、そのいゝ芳香が、ほんのりと着物にうつつてつきますから、今度着る時に大そう懷かしい心持になります。これは決して贅澤なことではありません。折角大切な着物を虫にくはれてしまはない爲に大切なお手當であります。

いよ〳〵お待ちになつたお正月です。お顔や手さきが、あれて居りますと、お家へいらつしやる方に挨拶をなすつたり、カルタをなさつたり、皆さんで、遊戲をしたりなさる時に痛かつたり、見つともなかつたりして厭なものでございませう。早く癒す様にいたしませう。肌に汚垢がついて居りますと作用が鈍くなつてあれ易いものですから、何よりも肌を滑らかにして、作用が健かに生々として居る様にしませう。丁度寒い時で、溫かい入浴が何より懷かしい時ですから、湯氣の立てこめて居る浴槽にとつぷりと浸りまして、出ますと、汚垢が浮き加減になつて居りますから、これへミツワ石鹸を泡で溶いた白い細かい泡を塗つて靜かに撫でますと、汚垢はすつかり此の泡に混つてしまひますから、これをお湯をたつぷり含ませたタオルで押へる樣にしますと、汚垢を含んだ泡は氣持よく離れてしまつて、肌は生々ときれいになります。此の石鹸の作用は穩和ですから、肌をあらす樣なことがありません。手ざわりもしつとりとした肌になります。湯上りにお顔や手足へミツワ粉の乳を塗りまして摺込む樣にしてねと〳〵と殘つた分を拭き除つて置きますと、肌に滋澤を持たせて肌理を細やかにする芳香健膚劑ですから肌のあれもしぜんとなほつて行きます。これからあれやうとするところを防ぐことになります。

百貨品日鮮御中取次販賣
◎ミツワ石鹸本舗東京下谷
◎丸見屋商店

東洋のボルドー
朝鮮浦項
ミツワ農場葡萄園

純良なる葡萄酒は、健全なる良好の血液を作り、吾人の健康を増進し、保健に効果のあることは、古來の定説であります。ミツワの商標を冠せるミツワ各種葡萄酒は、弊店經營の朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園に、歐洲産の卓越せる苗樹を移植し、多年苦心の結果、栽培の功を納めた優良歐洲種葡萄を原料として、醸造されたものであります。此葡萄園は地質風候東洋のボルドーと稱せらるゝもので、朝鮮慶尙北道大邱の東三十里朝鮮東海岸唯一の良港浦項市外に在り、二百餘町歩の面積を有し、高燥なる丘陵地は、雨量少く、歐洲各國の良葡萄園と同じ地質に屬し、發育の良好、成熟の優秀、眞に、理想的の良葡萄園であります。斯く原料の優秀に加ふるに、醸造の設備は、近代醸造化學の粹を採り、更に、醸造技術に於ては本邦葡萄酒醸造界の權威者農學士仲野隆一氏監督の下に醸造されてゐるのであります。

故にミツワ各種葡萄酒が、歐洲産に比し、毫も遜色なき醇良なる國産優秀品である事は、夙に識者の激賞を受けてゐる處でありまして、頃來、山梨朝鮮總督のミツワ浦項農場御視察をも辱ふした次第であります。

朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園産出の優秀なる
各種自醸葡萄酒及洋酒類

◎ホワイトワイン　◎クラレット
◎スヰートホワイトワイン　◎スヰートレッドワイン
◎キュラソー　◎ベルモット
◎ブランデー　（スヰート百番　オールド二百番）
◎ミツワ規那鐵葡萄酒　◎ミツワ人参葡萄酒
◎醇良葡萄酒　◎局方葡萄酒

賣捌　到る處の和洋酒食料品店に有り

◎クラレット　◎スヰートホワイトワイン　◎スヰートレッドワイン　◎キュラソー　◎ベルモット　◎ブランデー　（スヰート百番　オールド二百番）
◎ホワイトワイン　◎ミツワ規那鐵葡萄酒　◎ミツワ人参葡萄酒　◎醇良葡萄酒
（携帶用入）

ミツワ石鹸
ミツワ家庭藥
ミツワ煉歯磨
肝油ドロップス
本舗　◎　東京市下谷區二長町　發賣元　製造所　丸見屋商店　振替口座東京七一〇番

當朝鮮各地方に對しては格別出精御用命に應じ可申候間何卒弊店へ御註文の程奉希上候

釜山府幸町二丁目三番地　福榮商會卸部　電話（長）八九八番　一〇八一番　電略（フサン・サカエ）フクミ　振替口座京城一二九番

1229

靜物 —— 奥瀬英三氏筆

盛岡時代追憶
啄木の初戀そのほか
板垣貞夫

十

おせつゝあんや姉が金矢の家へ遊びに行つて二と晩泊つたその翌けの日、おせつゝあんが、澁民の町の親戚の家へ一寸行つて來ると言つて金矢の家を出たといふ。金矢の家は澁民村の中にはあつたが澁民の部落（前に記したいはゆる市街地）からは余程の距離があつた。北上川の支流の松川の鐵橋を北に見た田圃の中の一軒家で、作道を隔つて五六町、北上川の岸に出れば、そこには鶴飼橋といふ吊り橋が架してあつて、それを渡るとその袂の左手の丘の上には、いまは啄木の碑が建てられてある。

やはらかに柳あをめる
北上の岸邊目に見ゆ
泣けとごとくに

碑の面にきざまれてあるやうに、河べりには自然の柳が岸をおほふ。この岸から更に澁民驛へ四五町、水田を隔てゝ、國道の兩側に沿う小さな部落があつてそれが澁民の町といはれる處である。啄木の家、村に唯一のお寺もそこにある。

金矢家は澁民ではふるい家柄であるから、澁民に關する限り、何んな小さい消息でも知らないといふことはないのであつた。が、それにしてもおせつゝあんの親戚がそこにあるといふことは聞き知つたものがないのが不思議だつた。おせつゝあんの出て行つた後で、若い女達がそのことを噂し合つた。叔父は澁ら笑ひに何か言ひ出すより外に何も語らなかつた。兎に角大膽の見極めが皆の胸に秘められてその日は暮れた。夜になつてもおせつゝあんが戻らなかつた。遂々その夜は『親戚』の家に泊つてしまつた。その翌日も戻らず翌々日もなかく歸つて來相もなかつたので、金矢の家の年寄り達も心配し――といふよりも疑惑を感じ出した。よその娘が來て、自分の家で問題を起こしたといふことになれば、娘の親御や世間に對して申譯がないといふ意味なのである。姉もこう長く泊つて居ては、家へ歸つて父にも叱られるし、自分の氣持からいつてもこういふ場合の逗留は決して望ましいものではなかつた。でおせつゝあんはおせつゝあんとして、姉だけ一足先に歸るといひ出した時に、金矢の人々が、おせつゝあんと一緒に來たのだから一緒に歸るやうにといつて姉を返さうとはしなかつた。金矢としては又、おせつゝあんがそういふ話になつて居て、姉だけ一人歸られたんでは何だか知らぬ責任の加重が感じられたのであつた。姉も仕方なく歸るのを躊躇した。が、それにしても一刻も早くおせつゝあんをさがして連れて歸らねばならぬことを感じて、金矢の娘達と一緒に町の方へ出掛けた。心當たりといつては外にはないのであるし、すでに澁民で啄木のお寺を訪ねるといふおせつゝあんの噂もあつたので、その時までは、これ程に突きつめた二人の關係であるとは思へなかつたが、卽に啄木の家を訪ねて行つた。が啄木自身が出て來ての挨拶では、おせつゝあんがそこには居ないといふのであつた。姉達は彼の言葉を勿論まともに信ずることが出來なかつたが、といつていひ返してそれからどうだらうともいへなかつた。仕方なく彼の言葉を素直に受けたかに默つて歸つて來た。途中で姉、どうしてもあのお寺に居ることを突きとめたいといふ氣持ちになつて引つ返したら果してそこにおせつゝあんの姿を見た。がおせつゝあんが彼女等の來たことを知つて顔を合さずに家の中へ入つてしまつた。それから姉達はそのまゝ金矢の家へ引あげたが、姉はもう一刻もおせつゝあんを待つ氣になれなくて、金矢の家でとめるのも聞かずに、暇の中を狭島の家へ歸るといひ出した。金矢でも仕方なしに下男をつけて送つてくれたが、同時に狭島の私の家からも迎へが行つたのであつたといふ。

この話は、もつと詳しくは、機があつたら姉の口から、一度はつきり聞いて見たいと思つてゐる事柄であるが、現在の私の遠い記憶に殘り、全くの推測なしに當時を語りうる殆ど全部であるといつてもいゝ位である。この話に現れた事實こそ、啄木と節子さんとが永久に結ばれたことの楔機であつたらうと私は考へるのである。そして又これこそは啄木の初戀であつたのではあるまいかと思ふものである。戀は語つたり、さゝやいたりするだけのものであつたなら、啄木の初戀はもつと〱以前であり、おせつゝあん以外の女性にその例話があつたことはいふを待たないであらう。が啄木が全我的なそして本當にどうしても掬き切れない戀愛の對象として現れたおせつゝあんとの事實として、彼れの最初の戀として取扱ふべきものであらうことを、私は信ずるものである。

波
圭四郎

五

歸り道は消防聯地のいかめしい石壁に添ふ小道をえらんだ。歩行くと曲り角の鐵門に二つの碑標を見出した。近づいて見ると西の門に石川啄木の墓であつた。

『こゝにあるのですね』

彼女と私はその墓の前に一瞬たちすくんだ。粗末な木標に墨痕の跡もあやうく『詩人石川啄木の墓』とあつた。その裏には『東海の小島の磯の白砂に』の歌が書かれてゐた。誰が書いたものか二、三日前に書いたと思はれる墨痕であざやかに『船に醉ふてやさしくなれる妹の眼見ゆ津輕の海を思へば』が石碑（？）の木標にかゝれてあつた。

『啄木はほんとうにえらい詩人でしたのね』

『立待岬にあると聞いてゐたがこんな處にあつたのですか』

『啄木のはか』

『えらい詩人といふより偉大な人間といふのでせうね』

『私もそう思ひます。啄木の歌はわたし大すき。わたしが暗じてよめる歌はみな啄木の歌よ』

『そうですか。啄木の歌は讀むといつまでも頭に殘つてゐますね。その歌が歌つた生命といつたものが』

『そうよ、だから二度讀むとどこまでも讀者が頭の中に入つて、しまつても忘れられなくなるの、故鄕の歌なんかよいのね』

『まつたくいゝ歌があります。啄木位生活を歌つた人は日本に少いでせう』

『それも貧しい、苦しい、虐げられた人々のために、人の苦惱を絶望詩人として啄木は前途に光りを待ち望んでゐた人は少い』

『ここにその人の墓があつたのですね』

『啄木らしい墓ですね』

『ほんとうにさびしそうよ』

そういへばいかにも啄木にふさはしい墓標であつた。立待岬の岩頭に寄せてはかへす波の沫を見ると、啄木の碑と並つてゐる八尺近くの墓標は、いかにも啄木の生涯を物語つてゐた。石の碑でないかめしい墓標よりこの方がどれだけ啄木らしい碑であり、啄木が一生の歌をとおして、靜かに眠るにはいゝ墓標だと私は思つた。とすぐそのかたはらにもう一本の墓標の樣なものが立つてゐた。見ると『死ぬ覺悟あるものは來たれ』の名文句が墓太にかゝれてゐて、その下に『女子青年詩人碧』とあつた。成るほどと私は思つた。啄木の墓と立待岬と自殺。この三つは何かの因縁があるのだらう。そこでかの女はその名文句を讀みながら、獨りうなづく樣にいふのだつた。

『これは自殺に來た人をおもひとゞまらせると同時に何氣なく來た人を殺すわけにもなるのね』

『何氣なく來た人を……』

『えゝ、そうよ』

そういつてかの女はさびしく笑つたのだつた。

會報

綠泉句會

十四點（左人）十三點（防人）十一點、堤子、砂人八點（長風子、雄陽）五點（鶴陵、泊川）

七點
村長も焚火に交る協議かな　堤子

四點
夕もやを面に焚火の畑かな　雄陽
甲板に一線御ゆる霜夜かな　左人

三點
大河の澱にこもらふ霜夜哉　防人
宵居好きつゝあひ此れ霜夜哉　同
對岸の一燈の人や霜月夜　泊川

二點其他
やせ犬の物に忍ぶ霜夜哉　長風子
霜の夜に馬鼻白き師走の灯　同
鋼骨の一人組立す霜夜かな　鶴陵
焚火や狩り捨てし狸の桜　同
しん〱と[illegible]　堤子
大狸霜夜の洞を出る　左人
前千尺の外霜夜の月すこし　砂人
霜の夜や水車小屋の提灯　同
[illegible]霜夜の星を見る　雄陽
杉の木のよく〱立ちし霜夜哉　泊川

青凉例會（左人選）

[illegible]

荷吟社（光州方子郎選）

新年句會

[illegible]

全州俳句會（如水選）

（新年）

[illegible]

光州婦人會（方子郎選）

[illegible]

學藝界

◇大久保武雄氏（俳人）東上今月末頃に上京の豫定
◇藝の會 廿日午後七時より黄金町カフェ七星に開く
◇井上位八氏（詩人）母堂死去十八日自宅で告別式を營んだ

りん病絶對的の
キヽメ本位を以て世界的に
其名を知られたる治淋劑
リベール
五日のめばキットよくなる

特製リベールの効力が治淋藥中獨り飄然として飛びはなれている理由

強力なる殺菌性藥劑のみを撰び更に特殊の技術を施し科學の力に由つて合理的に調合したもので一般治淋藥とは全然その趣を異にしている夫れ故腸粘膜よりの吸收作用極めて迅速に行はれ服藥後の効果は最も鋭敏に顯はれてくる。

今本劑の勝れたる點を列擧すれば

一、服藥後間もなく尿の色は鮮黄色に變じ强きリベールの臭氣を放つて排出する

一、尿道にウヨ〱している無數の淋毒菌はこの化學的變化に基く藥劑のために悉く殺菌され尿と共に忽ち排出されてしまう、だからウミ、痛みは夢の如くに去る

一、異國人種よりうけたる病毒は極めて猛毒性を帶び頑固なるが故に平凡なる治淋劑にては寸効なし、然るに特製リベールはこの病毒性淋菌に對してもよく其の目的を達し病菌の絶滅を完ふする

一、胃腸障害の副作用なく又キヽメ速なりと雖も他へ害毒を及ぼす恐れ更になし

發賣以來已に十數年キヽメ本位で賣り擴め内地海外の津々浦々に至る迄、廣く販路を有し之れ迄幾百萬人の患者を悦ばしたであらうか。

憫める人は今直ぐ五日分試みられよキット滿足なる結果を見て悦ばれることを保證する。

◎謹告

必ず特製リベールと御指名あれ。へんてこな治淋劑を巧みに勸められても決して迷ふてはならぬ。若し品切の節は特約店か本舗へ直接申込みあれ。

價藥

惡症用特製　五日分 金貳圓　七日半分 金參圓　十三日分 金五圓　廿七日分 金拾圓

輕症用　五日分 金壹圓　十日分 金貳圓

送料　内地金十二錢　海外金四十五錢　代引金廿八錢

大阪市東區南久太郎町二丁目
發賣元 竹村製劑所
藥劑師 竹村幸次郎
電話船場一五〇番 振替大阪三六〇番

内地海外到る處の藥店に販賣す

大取次店

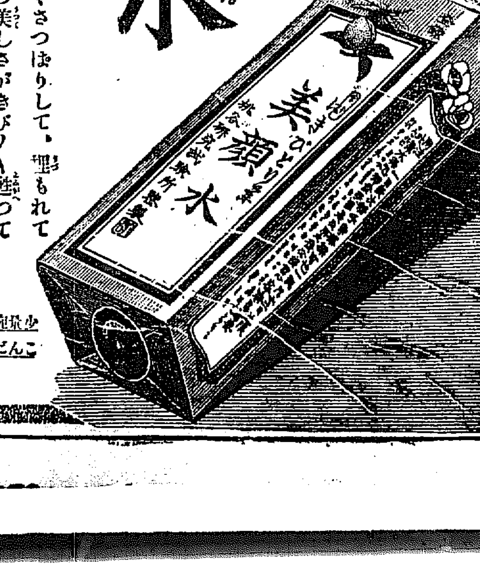
京城南大門通	新井大藥房
同 本町四丁目	木村大藥房
[illegible]	大島南海堂
[illegible]	[illegible]
大邱 元町	[illegible]
[illegible] 金剛通	林大藥房
元山 本町	池田大藥房
平壤 大和町	[illegible]
京城 本町一	山岸藥店
奉天 小西門	井上誠昌堂
同	佐藤廣濟堂
大連 浪花通	日本賣藥會社
哈爾賓 傅家甸	山本長壽堂
同 石頭道街	原田大藥房
青島 山東路	廣屋大藥房
天津 旭街	松本大藥房
同	廣濟堂藥房
北平 霞公府	信昌洋行
同 [illegible]	信昌洋行
上海 [illegible]	江南大藥房
同 五馬路	重松大藥房
漢口 五馬路	[illegible]
大阪 心齋橋	高橋分店
同 平野町	丹平商會分店
同 京町堀	小林大藥房
同 [illegible]	[illegible]
東京 [illegible]	大木合名會社
同 瀬戸物町	玉置合名會社
同 本石町	[illegible]
同 [illegible]	中田藥房
同 馬喰町三	玉置文治郎
橫濱 羽衣町	櫻井合名會社
名古屋 廣小路	小林大藥房
同 京町	荒川大藥房
同 京町	飯田巴商會
同 本町	平野隆盛堂
京都 柳馬場	田中庄兵衛
同 富小路	川杉永治郎
神戶 水木通	淡川藥局
廣島 猿樂町	廣島賣藥會社
吳 本通四	瀧田榮盛堂
[illegible] 本通五	原田益樂堂
博多 下土居町	武內精々堂
同 店屋町	梁井支店
熊本 賣藥町	山本染料店
同 南新坪井町	吉井藥房
[illegible]	白崎合名會社
小樽 入舩町	秋野藥房
小樽 色內町三	山本保全堂
札幌 南二西二	山形勉強堂
同 南一西六	秋山愛生館
旭川 二條十三	山本保治堂
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]

◎にきび治すに……

にきびとり 美顔水

にきびの綺麗に治つた——

お顏は全くさつぱりして、埋もれてゐたお顏の美しさがきび〱甦つてまゐります。頑固なニキビ吹出物にも確かにきくので知られてゐる、最も信用ある、どなたも必ず滿足なさるにきびとり美顔水で速くお治し下さい！



美顔化粧品發賣元 桃谷順天館

少量宛常用すればお顏が磨きこんだやうに美しくなります

飾窓にスケートに…… キムラヤのパン

大 ホシ大ソース

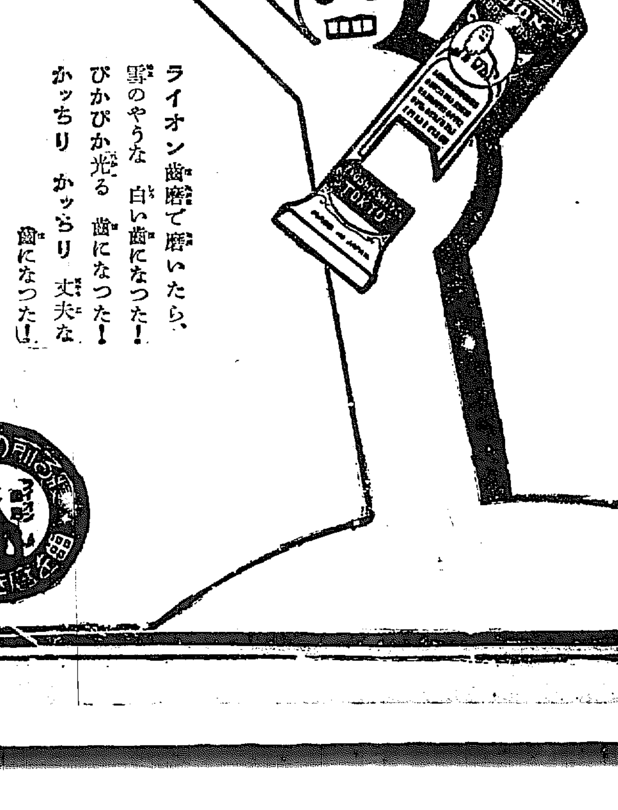
官製精 參精（官製人參エキス） 元賣捌所 京城本町二丁目 貴生堂 電本一三八番

痔疾專門 京城府明治町二丁目本通り中央 京城肛門病院 入院隨意 電話本局三一七二

本店 京城府南大門通一丁目十四番地 電話光化門長七六〇番 振替口座京城二一〇五番
株式會社 漢城銀行
取締役會長 白完爀
專務取締役 堤永市
支店 南大門、東大門、西大門、本町 水原、大田、大邱、釜山 開城、平壤、平壤大和町

頭いたくてクシヤくしたがノーシンのんだらスグ氣がはれた

ライオン歯磨



ライオン歯磨で磨いたら、
雪のやうな 白い齒になつた！
ぴかぴか光る 齒になつた！
かつちり かつちり 丈夫な齒になつた！

本舗 株式會社 小林商店 東京・大阪・名古屋

蛇に謂する傳說(9)

蛇の執念に神の怒り 全島を毒土と化す

蛇の棲まぬ毒土の島……(下)

安東縣 西村靜哉

『なんといふ怨ろしい蛇の執念だらう。これも隱し姫が前世からの因緣かも知れない。』島司は一應は諦めてあきらめてしまふ樣にこうはいつて見たものの、どうしてタッタ一人の姫の命があきらめ得られませう『タカが蛇類ではないか、ナニ小癪な』◇島司は反抗的にこう心に叫びました。だがさう强くはいふものの渤海國のためにこの島が狙はれるとの一事には强く心を惱ましました。◇その當時、朝鮮は新たに興つた渤海國の勢力に脅せられて明へ の貢物を、渤海國に贈る事になつたのですが、朝鮮は矢ッ張り明の方へ內證で貢物を贈り、渤海國へはホンの申し譯的に僅少しか贈りませんでしたので、それを知つた渤海國は怒つて朝鮮征伐を企てその第一戰爭としてこの威化島を占領して陸路を斷ち切り明への貢物をこゝで防つて仕舞はう、と計畫して居る時でした。◇そんな事は少しも島司は知りません。今はたゞ姫の事で心配は心に一杯です。姫の病氣は次第に重るばかりでした。或る日の事でした。長い間の無理な看護の爲にぐつたり疲勞しきつた島司の眼がわれ知らず眠入つてしまふと、またしても怨ろしい夢のおつげがありました。◇『明後日までに姫の體をありなれの川に沈めなければ、龍神の呪ひの爲になんじの一家は勿論この島の生靈は一人殘らず渤海國によつて全滅させられて仕舞ふであらう。』はつと夢からさめた島司は恍惚として島司にこのおつげを知らせました。これを聞いた島司の心は張り裂け相です。うなされた島司も實はそつくり同じ夢を見たのでした。然しそれでも姫を龍王に贈る氣持にはどうしてもなれませんでした。◇或る日の事でした。慌たゞしく一人の兵士が島司の許へかけつけて來ると息をはづませて注進しました。『申し上げます、我島の一大事で御座います。』『何！一大事？』島司は心にぎくりとしました。『渤海國の兵勢が攻め寄せて來るのでございます。』『オゝ、それは大變だ！』『明へ朝鮮から贈る貢物を奪ふ爲だ相で御座います。』◇注進によつて渤海國の兵の來襲を知つた島司は、取る物も取らず島の兵士を集め、自分は鉢巻きやぐらに上つて河一つへだてた渤海兵を見渡すと、居るは〳〵蟻の樣な大軍が蠢々として續いて居る。島司の心は千々にくだけた。姫を龍王にやつてこの大難からのがれ樣か、それとも渤海國と一戰して見事に死んでしまはうか……◇その時、島司はまた夢のおつげを見た『今直に姫を龍王に送れ。然らば我力をもつて渤海國の大軍をうちほろぼしてくれん』と叫んだ。どうして姫を龍王にやれやう！島司は今はせんかたなしと心にかたく決心をして、直に戰鬪の命令を將兵に下した。◇やがて戰ひは始められた。時ならぬありなれ河の附近は戰場の巷と化した。そして……蛇の執念は恐ろしかつた。必死の防戰の功もなく、威化島は渤海國の爲にほろぼされてしまつた。◇島司とその一家の人々も哀れ歸らぬ人となつてしまつた。

× × ×

蛇の恐ろしい執念の爲に……これが不思議な威化島のいひ傳へです。それから幾百幾星霜、この島には絕對に蛇が棲んで居ない。神樣は餘りに蛇の仕業に恐れられてこの島を蛇の毒土となさつたといふ事です(おわり)

今年しや…… 選擧の當り年

學校組合を劈頭に 三つの選擧がある

今年は京城の選擧年で、先づ學校組合議員の選擧が行はれる事になつて居る。その一般選擧のものは六月九日に行はれる京城學校組合で、これは有權者一萬五千名に上る多數なので、激烈なる選擧が行はるべく、前回に比較して約一千名の有權者が增加する見込であり、京城府では二月總額に選擧係員を任命し、有權者名簿の調製に着手するはずであり、この有權者は組合賦課金をおさめて居る二十五歲以上の男子は全部なので、從つて名簿は廣汎なものとなり、現組合議員の再選、新候補の輩出で激烈なる選擧とならう、つぎは十一月二十日に行はれる京城府協議會議員選擧で、これは市會議員格だけに選擧戰も激しいであらう、有權者は六千余名、これも前回より殖える見込み、つぎは十二月一日の京城商議所議員でこれも改選期であつて來年四月一日は新令による選擧で終る事になるので京城府ではいづれも各豫算に選擧費を計上する事となつてゐる

審議中の學位令改正

上京中の松浦總長も法制局と打合せ中

城大醫學部教授陣大學々位令は目下法制局に回附されて審議中であるが、何れにしろ昨今學位は直接當該大學總長より許可する樣文部省內にも意見あつて近く改正されるらしいので法制局も文部省の態度の決定するまで審議を待つらしく思はれるので、豫定の通り來る三月末日までに提令になるかどうかわからず目下上京中の松浦總長は法制局側と種々打合せるはずである。その學位令の內容は殆ど內地の學位令と變りなく、審査料は百圓で、學位論文提出資格は城大卒業生たると否とを問はず學位の種類は、醫學博士、文學博士、法學博士の三通りで、經濟學博士は講座數の關係で許可せぬ方針らしい

城大の尹氏に學位を授與

【東京電報】京城帝大醫學部助教授尹日善氏は十八日醫學博士の學位を授與された

酒亂の弟を絞殺した兄

薪炭商の善良な青年 東大門署で取調中

十八日午前一時頃府內通一二七番地和田儀造方奧の六疊間において兄和田儀三が母が危險を救はんとして酩酊の弟泉吉を絞殺するに至つた和田家一家の家庭悲劇については夕刊既報の如くであるが、加害者の和田儀三も東大門署に自首すると共に東大門署に護送され目下同署の留置場で今しがたの出來事をおもひかへしてゐる。なほ殺害されてからも同人は弟泉吉の名を呼びはんとうに死んだものであるかどうか、萬が一の僥倖を賴りに未だに弟泉吉の生を願ひすべてが夢である樣に口走つたといふ。同人は同署內に善良な青年で弟泉吉の酒亂にはいつも我との樣に歎げいてゐたものである。

朝鮮にも建勳神社

臺灣、樺太等に倣つて 當局でも考慮中

朝鮮においては物故した功勞者に對しその遺風を後世に傳ふるための神祇祭祠の施設なきため近頃これが建設企畫等について當局の間にもまた民間有識者の間にも寄々話題に上り官民一致の輿論として近く何等かの形式方法により實現せらるゝ機運に進展した模樣、樺太等においてはつとにこれが必要に促され昨年をもつて建勳神社の創設をその筋から許可さるゝことになり生前開拓のために功勞あつた功勞者はそれ〴〵同神社に祭祠することになり偉大の靈を慰せらるゝ譯であるが朝鮮においては果然かゝる建設なきため遂く常備とせられてゐる靖國神社には戰死者靖國はこれと同一なる死沒者にあらざる限りは祭祀されないため從來朝鮮のため最も功勞ある者も折角神社としては祭祀することも出來ずたとへば伊藤統監の如き內地においては神社として建設はされてゐるが朝鮮ではいまだその建設なきため內地同樣或は臺灣樺太等の建勳神社の例に倣する神社を建設することにならうと

日曜日上演に ショウ翁の皮肉

贊成演說の依賴を あつさりことわる

【ロンドン聯合郵信】英國では日曜日に音樂や活動寫眞の興行をなす事は許可されてゐるが芝居の上演は禁止せられてゐるので英國演劇協會では目下著手落ちだとあつてこの禁止撤廢運動を起こし、例のバーナード、ショウ翁に賛しても一つ贊成演說をして貰ひたいと申し入れた處、ショウ翁は例の皮肉づくめで返事を寄越して斷つた。その理由はショウ翁の手紙が頗る皮肉に富む。翁はいはくこうだ『この問題については小生にしやべらせない事がよろしからう死んだ舞臺監督のアーサー、ブーチャー君も或る會合で諸君と同じ意見を述べられたが、小生はその節ですでに申してある。日曜日の演劇は俳優諸君が一週間に八日働いて十回出演することになる。然も給料なんかビター文上りやしない。處が小生の戲曲は賣れるのだ。その日お集まりの諸君は大々的に小生に贊成した。可哀そうにブーチャー君は本氣でびつくりしてゐたつけ』

商銀の小火

十七日午前八時四十五分市內南大門通二丁目十二番地朝鮮商業銀行三階秘書室から發火、折よく行員が發見して十分後大事に至らずに鎮火した、一時は場所柄だけに大騷となつた原因は小使が窓際に火鉢を置いてゐたのか窓カーテンに燃えつき窓棚を少し燒失したもので損害は輕微であつた

京城グラウンドに 立派な正門

トラックも改造する 春の準備をいそぐ

京城運動場は目下冬ごもりで今シーズンの計畫準備を進めてゐるがいよいよ三月初旬から手入れをするはずで今の處府では正門入口に廣大なる鐵筋コンクリートの堂々たるのよき門をつくることと、トラックを改造して陸上用のグラウンドに使用出來るよう土砂入れかへて工事を行ふことが主なる事業である。なほ入場者累年成績狀況は

▲大正十四年度 一三八、六七二人
▲昭和元年度 一八八、五六二人
▲昭和二年度 二四一、九五九人
▲昭和三年度 二七六、二四〇人

京城タクシー！ 途中何回降りても往復しても三町までは一圓均一 メーター附で最も安い 鮮銀前 本局一〇四〇・二七四四

城大病院を改築する

大學の完成を待つて もつと近代的に

京城帝國大學では昨年度豫算で總工事は全部完了するので完了後は附屬病院の改築を行ふことになつてゐる、現在の大學病院は總督府醫院から引つゞいたもので建物も古く設備なども現在のまゝでは設備は完備してゐるが近代的の病院としてはいさゝか見劣りがするといふので大部分改造しようといふのである、最近內地では官公立病院のめざましい街頭への進出で私立病院や開業醫間から『醫師革命』の新造語さへ生れるに至つたが、朝鮮でもさきに醫專病院の新築なつて本年度は增築の計畫あり、それに完備した現在の大學病院が更に建物を改築して一大モダーン病院にするといふのでぼつ〳〵この『醫師革命』の新造語も生れるらしいが、それにしても、この完備した大病院が建物を改築すれば近代醫界の一角に堂々たる偉觀を呈することだらう

お花さん重態

【大阪電報】西園寺公爵からひまをとつて昨春來大津市松本町瀨城園で世間から遠ざかつてゐたお花さん事奧村花子さん(…)は兼て肓腸炎を患ひ昨年十一月中旬頃から病勢あらたまり滋賀病院長瀨川醫學博士の診察を受けてゐたが最近心臟も極度に衰弱して余程の重態であると傳へらる

お通りがかりにはぜひどうぞ……本町喫茶店 金剛山

振威郡の 強盜傷人

犯人檢擧さる

振威郡西面鑑淨里李花根(…)金一山(…)は十五日夜十二時頃仁川府新町金昌振宅東鎭方において水原郡雙澤面韓某里洪孔殷東(…)外三名とともに一圓乃至十圓までをかけて賭博を行ひ孔が四十圓勝て止めたところ金一山は孔殷東に對し出金せよと迫り暴行傷害の上賭金四十圓を所持して逃走し京城府內にて捜査中のところ十七日午前三時頃難なく逮捕され目下取調べ中である

狂言强盜の申告二つ

何れも拘留廿九分

▲利川郡大月面高渡里農李興九(二三)は十三日午後七時から利川邑內にて所持金十二圓の內七圓八十錢を飲酒に費消し泥醉して歸家の途中利川郡夫鉢面、大月面境の福河川橋上より墜落負傷したので家人や友人に面目なく十四日朝利川署管內新苑駐在所に出頭前記福河川橋上で强盜にあつたと虛僞の申告をして拘留七日

▲水原郡八灘面□□里農李昌榮(三四)は十五日同郡郷南面發安市場に赴きしたたか飲酒して泥醉し歸家の途中郷南面八灘面境の瑞谷山下路外前路に轉倒顏面に負傷したので母に面目なく歸宅とともに前記場所にて一名の强盜に襲はれ毆打された上所持金五圓を强奪されたと、つくり事を列べ弟李花束をして德場駐在所に不實の申告をさせたため水原署から拘留十日の即決處分に附せられた

京城放送局の佐伯高等官▲この正月に萬年筆をおとした十六日には眼鏡のつるを切つてしまつた萬年筆と眼鏡で仕損してるんだから、もうやめろといふ譯かなと▲課長は悲觀してゐる▲それでも眼鏡は新調、萬年筆は購入したのさとその翌日は▲ほゝんと、あごをなぜた▲放送成績が惡いと攻撃された放送部長▲その攻撃を聞いてないにくそと謂へあげると▲非難十件のうち賞讚は九件のやうになるし▲こんな好成績だが、謂せ讃ほど▲事業部長がいふ▲でも困つたな餘りじやなく、その譯辭を試して見よう……ニコ〳〵

冬知らぬ國

昌慶苑の溫室

紛糾の渦卷く 釜山瓦電問題 (3)

半死半生の窮境から 建て直しを行つた 香椎源太郎氏

◇—◇ 明治四十三年頃の釜山、電燈は大池忠助氏の釜山電燈會社が、電車は釜山鎭一氏の釜山軌道會社がそれぞれあつた。この兩者を合體して大會社にしやうといふ目論見が起こつた。起こした人は東京馬車鐵道(東京市電氣局の前身)社長牟田口元學氏と、岡崎遠光氏であつた。岡崎氏の日韓瓦斯電氣會社と牟田口氏の韓國瓦斯電氣會社の設立出願は對立となつて、釜山理事廳に提出された。有吉總務長官の決裁を得、四十三年五月十八日日韓瓦斯電氣會社をけおとして韓國瓦斯電氣會社設立認可指令が發せられた。

◇—◇ 五萬株、一株五十圓四分の一拂込、公稱資本金五百萬圓、大倉喜八郎男、松平正直男、岡田千之助氏、井上敬次郎、末森安太郎氏等の發起者により、當時の大株主は岡崎の五千株、鈴木鐵太郎氏の千二百株、京都電氣の一千株といふところ、當時有望な事業とあつて株の賣行き根がはえて飛ぶ如しとある。釜山軌道を五萬五千圓で、釜山電燈を二十萬圓で買收し、こゝに韓國瓦斯電氣は誕生した。これが現在の瓦電の前身なのである。創立當時の役員の顏觸れをみれば、社長牟田口元學、常務取締役佐藤潤象ならびに取締役に井上敬次郎、追間房太郎、大池忠助、小泉策太郎、吉本天祐、平山房吉氏とあり、當時の大株主、追間房太郎氏の持株は五百株、香椎氏の香の字も見えぬ當時だつたのである。

◇—◇ その當時の香椎氏、當時も釜山の三長老ではあつたが、大池、追間兩氏に比較して聲望おち、漸く時の潮打つ波に他日雄飛の思ひを千々にくだいて居た頃であつた。韓國瓦斯電氣會社は日の出の勢ひで出現したが、一期、二期と豫期の業績はあがらなかつた、三期、五期と離次業績惡化し、株主間の紛擾があり、株價暴落、韓國瓦電の假用賃價は奈落に陷ちて收拾すべからざる狀態であつた

◇—◇ 半死半生の瓦電、これに目をつけたのは香椎源太郎氏その人であつた。大正四年市場に賣物の如くちつて居る同社株を、一千株も一千株とあつかんだのが一千株。この一千株に、ものいはせて、東京市麴町區內幸町一丁目に本社がありし同社に乘込んだのは、それからまもなくであつた、歐洲大戰の勃發、石炭諸資金騰、諸材料は多く騰貴の價の騰いた同社を整理せしむべく、まづ釜山瓦電會社と改稱し、斷然なる打撃とたゝかい、事業を整理し、改善し、かゝる際にもしぼ〳〵拂込を徵し社の立て直しを行つたのである。この香椎氏に言はせれば、赤ら顏を光沢に吐いて、微意の事を長きにいろどりつゝ、深々と吐くことなのである。

◇—◇ 今や資本金六百萬圓、拂込資本金三百七十五萬圓、一割二分の配當をして、なほ余裕綽々たる同社であるが、創立當時の狀態から今日の隆昌を見るに至つたのは、實に今のかみの香椎氏の徹底な業務の手腕に負ふ處があつて、創業當時の面目も當時の人間の間に、なほ多く今日の隆盛の基を築いたのであつた。『幾多の艱難に遭遇し辛苦艱難……』と同氏が今日あるは一にこれ香椎氏の奮鬪努力の賜であるといはなければならない。(寫眞は香椎釜山瓦電社長)

宴會を最も安値に引受けます ちり鍋 すき燒 よせ鍋 御料理 たま家 旭町一丁目 電本三九一一番 御家族御同伴を最も歡迎します

多産鶏ヒヨコ 釜山府大新町 丸善孵卵場 太田大作

生徒募集 遞信局海員養成所 試驗地 京城、釜山、群山、元山、平壤、各地 詳細ハ一月十五日以降本府官報參照入學案內郵券二ヲ要ス

官費養成 鐵道就職 鐵道員となりて立身せんとする者は眞面目に規則書をハガキで申込め、無代進呈 東京下尾久町八九〇 東洋鐵道學會

小學教員 及師範入學希望者には申込次第受驗の手續、有利なる教員受驗案內の外一切を無代で進呈致します 東京池袋 大日本受驗研究會

熊本藥學專門學校 生徒募集 ◎願書受附…自一月十日至三月十日 受驗地…熊本・神戶・東京 ◎詳細ハ返信切手封入本校ニ照會スヘシ

京都高等蠶業學校 生徒募集 ◎募集人員 養蠶科四〇、製絲科二〇、蠶業教員養成科八〇 ◎試驗場 京都、東京、福島、名古屋、廣島、熊本 ◎試驗科目(本科)國語、代數、英語(本科)國語、算術、植物 試驗日 三月二十三日、二十四日 詳細郵券封入照會

模範自動車運轉手養成 優良なる本組合講習所に學べ 申請色よ確實な ◎最も確實な ◎ 京城本町四丁目 京城自動車運轉手組合

北島醫院 內科胃腸科 眼科神經病

京日案內

看護婦募集 內科小兒科 松下醫院

貸間 二階 閑靜な家族的の御世話致します 姓名在社

藥局 生入用 但し內鮮人を問はず經驗の有る方に限る 龍山漢江通 中村眼科醫院

乳母 入用 三十歲前後の內地人に限る 旭町 電本二七八五

恩給 年金、恩給、扶助料、證書、手形等取扱 京城府 長谷川町

看護婦 二名募集 仁川府 病院

ほね つぎ ぐじき もみ 療治 明治町 道場

恩給 年金證書の低利融資 京城 西村

ラヂオ NV オートロ

毛皮 なめし 毛皮

恩給 年金 證書 電話

英習字 無代進呈 大日本英習字研究會 東京目白

樂譜 獨唱・合唱・ピアノ・オルガン・ヴイオリン・マンドリン・ギター・ハーモニカ・尺八・長唄 東京銀座 共同樂譜販賣所

支部長 一都一名 各地方向 國民教育會

花柳病專門 和田醫院

頭痛にノーシン

難症治療の大革命 ジシンパスタ 木下博士創製 强力消炎塗布劑 肺炎、肋膜炎、腹膜炎、盲腸炎、乳腺炎、膀胱炎、睾丸炎、痔疾 等に病む人は先づ不痛の偉效を知れ 詳細説明書發呈

天帝一揆 (59)

佐藤惣之助作　多田穀三畫

原の城

寺澤忠右衛門は、既定案、飛報一揆を纏めて、いよいよ原村の古城に立籠もるべき計略を發表し、次いで各自の意見を求めることにした。

『一揆の蜂起は八月十三日、本渡りの勝度の手合せは同月廿五日、又島原深江の城合せは九月七日、こう指を折つて見ると、追々江戸への注進がすゝみ、お討手があるとなると、遅くも十月初めには江戸の討手が下向すると見なければなりません。さうなるともう一人たりとも油斷してはならぬ。その上肥前のことごとくを攻め取るとしても、大軍をこゝで防ぐといふことはむづかしいが、幸い原村のこの古城は、まづ四國、九州の類のない名城と申さうか、日本中の城を毎しても先づ三番は籠城しまいと誰にもいはれてゐるくらゐで、古城のまゝの規模は非常なも

もう不用になつてゐるが、古の有馬家の出城として有名である。鍋島家の細川…隣信はこゝに籠つて、肥後、肥前を打ち從へた。その後天下も靜謐となつたので、この城を明けすてられて、佐賀に在城されるやうになつたが、古來からこの城は一度も落ちたことのないものであることは確であつた。それは人工的なものである城に、よりよく自然の要害を利しておるので、籠城にはおあつらへ向きの城郭であつた。城は自然のまゝの絶壁といつた方が至當で、東と西に海を受け

のです。で、まづこゝに立籠つて悠々と大軍を引受けて見やうと存ずるが、おのおのお意見はどうか。折よくこゝで二三年の籠城が出來れば、又いかなる隙、いかなる天運にかなつて味方も出來ないものでもない。その上天下の討手を向ふに廻して戰機をすごすことが出來れば、武士としての本懷は御座らんか』と浪人、籠城の議を申さへ手配に任せ、遂に名譽としてゐるほどで、こゝは又大阪にもましていさぎよい合戰が出來やうと存ず るが……』

寺澤は瞳をつけ起した。

『いや、我々は寺澤殿のお見積りに依賴致します。』

蘆塚の同意は即座に決定した。

『然らば一同お籠城であるから、然らば一同お指圖に從はう。』

寺澤は十七人衆を初め、多くの籠城の人々を原の古城へ移動することにした。この城はいつ頃かきづいたかは

る山丸とも稱すべき所であつた。北は鷲穂の大沼田といはれる所で、殆ど人脚も入れられぬ絶所で、あり荒無でもあつた。そこには岩石と雜草よりほか何物もなく、には千仭紫の大海が渺茫く殿りあつてゐるばかりであつた。たゞ西の一方が大手であり、城への通路であつた。城は本丸になりだんだんにすべり坂となつて、城門あたりは又も險阻な岩石によつて組立てられてゐた。

『まづ敵を引受くべき所はこゝ一方しかないのです。たとへ何萬の討手が來やうとも、矢がゝりは通らせいぜい十人幅にすぎないので、この城門へ押寄せてくるのは、これが先づこの城の天然の要害と申さうか』

寺澤は口から微笑を洩して人々に説明した。

旭屋旅館　仁川　電話二一五一

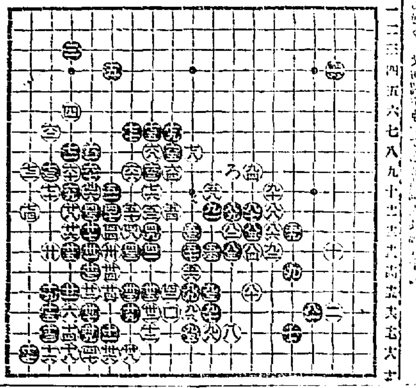
新刊雜誌

▲實心（新年）京城初音町一九　▲會寧（四四號）仁川宮町三七　▲鮮滿商報（二六號）名古屋市中區　▲商工十錢　▲朝鮮教育新聞（一八八號）京城　▲全羅商工月報（四八號）會寧　▲京城（一月）京城　▲生活と宗教（一月）名古屋市中區　▲工業と經濟（一號）東京市外　▲土木建築雜誌（一號）東京市神田區　▲海（一八號）大阪商船株式會社　▲新　東京市　▲朝鮮の鐵（二六號）京城苑洞　▲新聞之新聞（日刊）外新聞大觀　▲研究（十六、十七卷）外務省　▲總督府官報（七卷）外務省條約局　▲非賣品　▲朝鮮彙報（一月）京城仁寺洞　▲ダイヤモンド（一月）村松俗雨　▲讀書の時報（一〇一號）大連

けふの新刊（十五日）

[illegible]

圖碁新局 (76)



京染なれば宗屋

京城明治町二丁目　中央婦人科院　院主　衣笠茂　電本三三四〇番

映畫案内

喜樂館　斑蜘蛛　九卷　史曲ベンハー　十二卷

京龍館　借りた指環　全六卷　江戸三國志　最終篇

大正館　珍客往來　六卷　開化異相　十三卷

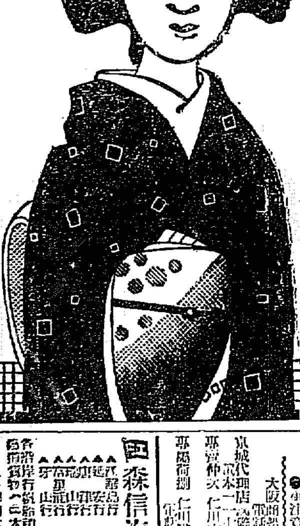
東亞倶樂部　高杉晋作　十五卷　漂流の卷　八卷

中央館　野崎村　三人盗賊

浪花館　渡邊豐子　荒川九州男

一番よくきく　アレ止めは

クラブ美身クリーム



大好評大人氣の

此のクラブ美身クリームは素顔の美を増し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして……

衛生的唯一の美身クリームなり

優良な技師に依て作られた優良な品

クラブ洗粉本店謹製の

●アナタ　頭痛　ノーシン

頭のおもい時に氣が付きはしませんか自分の頭が…

美味にして滋養豐富の強壯料

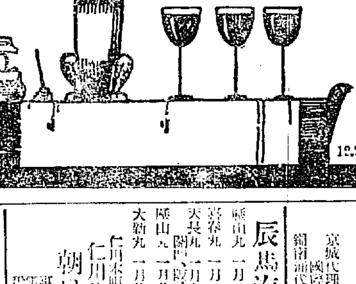
化學工業博覧會銀牌受領　東京博覧會優良國産賞牌受領

○ミツワ人參葡萄酒

香味高潔濟和滋養豐富

元氣增進興奮作用優秀

▽如斯人は强壯料○ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲



發賣　和洋酒食料品店・藥店・雜貨店

○ミツワ石鹼本舖　丸見屋商店

（現品寫眞圖）

定價　壹圓　金拾錢

嶋谷汽船仁川出帆

仁川發　大連天津直行

裏日本北海道　樺太行

鎭南浦發

辰馬汽船仁川出帆

仁川出帆

朝日組回漕部

高杉回漕部

大阪商船株式會社

内地各港出帆主要航路

森信汽船仁川出帆　森信汽船株式會社

定期朝鮮郵船　博多航路

朝鮮汽船出帆　朝鮮郵船株式會社

仁川汽船出帆　仁川汽船株式會社